



第3部 基本計画



前期基本計画の基本目標

K P I（重要業績評価指標）		基準値	目標値 (2030 年度)
第1章 小規模多機能自治のまちづくり			
地域まちづくり協議会が主体となる協働事業の参加者数		39,160 人	51,692 人
湖南市防災士連絡会に所属する防災士数		283 人	374 人
夜間学級生徒数（5年間累計）		—	125 人
市民意向 調査にお ける満足 度※	湖南市版小規模多機能自治の推進 ※1	67.3%	73.2%
	外国人市民の地域定着、生活支援の充実 ※2	64.1%	70.0%
	地域まちづくりの担い手の確保 ※3	55.6%	60.7%
	人権尊重と恒久平和の追求 ※4	75.9%	81.7%
	ジェンダー平等の達成 ※5	66.3%	72.7%
第2章 自然を生かし、自然と共生するまちづくり			
官民連携によるE S G投資額		333,645,424 円	465,000,000 円
都市公園の再整備箇所数		0 箇所	3 箇所
1人1日あたりのごみ排出量（総量）		714 g／人・日	662 g／人・日
市民意向 調査にお ける満足 度※	こなんS D G s 未来都市の実現 ※6	60.4%	66.3%
	魅力的で個性的な拠点となる公園の充実 ※7	69.3%	72.9%
	自然環境・生態系の保全 ※8	72.9%	77.7%
	循環型社会の形成	73.9%	78.8%
	上下水道の整備	91.1%	93.9%
第3章 人と産業が集い、公共交通でつながるまちづくり			
J R 草津線（石部駅、甲西駅、三雲駅）乗降客数		5,632 人	6,146 人
コミュニティバス乗客数		263,000 人	316,000 人
製造品出荷額等 ※9		5,757 億円	6,195 億円
観光入込客数		608,320 人	670,000 人
市民意向 調査にお ける満足 度※	公共交通の見直し	18.9%	21.6%
	計画的な市街地・住環境整備 ※10	62.8%	67.5%
	道路網・河川の整備	50.5%	54.1%
	農林業の振興	56.3%	62.1%
	工業の振興	58.7%	64.9%
	商業の振興	39.4%	44.3%
	観光の振興	44.4%	49.7%
	雇用の促進と勤労者福祉の充実	48.0%	53.8%

※基準値は総数から「どちらともいえない」「無回答」を除いた数に対する「満足」「まあ満足」の割合

※1 「市民主体のまちづくりの推進」

※2 「多文化共生のまちづくり」

※3 「特色あるふるさとづくり」

※4 「すべての人の人権尊重の推進」

※5 「男女共同参画の推進」

※6 「エネルギー・経済の循環による活性化の推進」

※7 「身近な公園・緑地の整備」

※8 「環境の保全」

※9 基準値は2023年（令和5年）経済構造実態調査の値

※10 「市街地・住環境の整備」



K P I（重要業績評価指標）		基準値	目標値 (2030 年度)
第4章 こどもが主役の、生涯健康で安心に暮らせるまちづくり			
地域子育て支援事業（つどいの広場や子育て支援センター）の利用者数		11,900 人	12,300 人
産後ケアの利用人数（5年間累計）		418 人	935 人
健康寿命 ※11		男性 79.02 歳 女性 81.37 歳	男性 79.49 歳 女性 81.86 歳
市民意向 調査にお ける満足 度※	子育て環境の充実	65.2%	70.9%
	教育環境の充実 ※12	63.6%	69.4%
	高齢者福祉の充実 ※13	50.5%	56.0%
	障がいのある人への生活支援サービスの充実※14	58.3%	64.3%
	健康づくりの推進	74.6%	80.2%
	医療環境の充実 ※15	56.2%	59.7%
	持続可能な地域共生社会の実現 ※16	54.6%	60.4%
	危機管理体制の強化 ※17	53.6%	59.1%
安全な地域づくりの推進		61.9%	67.6%
第5章 市民文化を築き、はぐくみ、伝えるまちづくり			
スポーツイベントへの参加者数		14,704 人	19,410 人
歴史・文化財・芸術展などへの参加者数		867 人	1,145 人
図書館入館者数		—	93,000 人
市民意向 調査にお ける満足 度※	若者の社会参画の促進	44.0%	49.8%
	生涯学習環境の充実, 教育プログラムの充実 ※18	47.7%	53.7%
	スポーツ環境・拠点の充実 ※19	63.1%	68.3%
	歴史文化遺産の保存・継承と活用	68.0%	74.0%
	文化芸術活動の振興	60.4%	66.6%
	人権教育の推進	68.6%	74.9%
第6章 効率的・効果的な行財政システムと人づくり			
経常収支比率		88.0%	90.7%
電子申請化率		11.2%	70.0%
市民意向 調査にお ける満足 度※	自治体DXの推進 ※20	58.2%	63.9%
	財政の健全化 ※21	40.5%	45.7%
	近隣市町との連携 ※22	41.4%	47.5%

※基準値は総数から「どちらともいえない」「無回答」を除いた数に対する「満足」「まあ満足」の割合

※11 基準値は 2022 年（令和 4 年）の要支援・要介護認定者などの基礎数値から算出

※12 「就学前教育・学校教育」

※14 「障がい者の自立支援の充実」

※16 「地域福祉の推進」

※18 「社会教育の推進」

※20 「情報ネットワークの構築」

※22 「広域連携の推進」

※13 「高齢者の自立支援の充実」

※15 「医療の充実」

※17 「危機管理体制の整備」

※19 「スポーツの振興」

※21 「効率的な行財政運営の推進」



前期基本計画の見方

政策

まちづくりを実現するための政策目標

第1章

1. 湖南省版小規模多機能自治の推進

施策1 小規模多機能自治の推進



これまでの取組

地域まちづくりフォーラムの開催などを通じた地域との意見交換や地域まちづくり協議会への担当職員による支援、交付金の適正化などコミュニティプランの実現に向けた支援を行ってきました。

めざす姿

市内4箇所の中学校区を生活圏域としてサポートする体制、連携の形を確立していきます。地域主体の特色ある地域づくりへの支援がされ、地域まちづくり協議会が中心となって地域が自らできることに主体的に取り組んでいます。

実施方針

- 小規模多機能自治センターの整備（4中学校区の拠点の確立）
- 市民と行政の協働の推進
- 地域まちづくり協議会の活動促進

施策2 地域コミュニティの活性化



これまでの取組

地域代表者会議や研修会を通じて区・自治会運営の先進事例を学ぶことができました。地域まちづくりフォーラムの開催などを通じて、若い世代との対話に取り組んできました。一方で、地域の帰属意識や連帯感が薄れつつあり、区・自治会の加入率の低下、地域コミュニティの希薄化が進みつつあります。

めざす姿

こどもから高齢者まで全ての世代が地域づくりに関わり、世代間交流を通じて将来の地域づくりの担い手が育まれる環境が整っています。

実施方針

- 地域コミュニティプランによる主体的な地域づくりに向けた協働、助言
- 地域の担い手となる若い人財の育成支援
- 地域課題への関心を高めるための情報提供や学習機会・伝統行事などへの支援

施策

施策毎に名称・これまでの取組についての説明、めざす姿、今後の実施方針の姿を整理

SDGs

施策に関連するSDGsアイコンを掲載

第1章 小規模多機能自治のまちづくり

～湖南省みらいものがたり Episode 1～

「今度、夏祭りのときに、友だちと中学代表で発表することになったよ」

娘の結菜（ゆいな）が、得意げに言った。

中学1年の探究学習で、結菜たちのグループが考えたまちづくり企画が校内で最優秀賞をとった。そして湖南省の夏祭りで、その成果を発表するブースを担当することになったらしい。

沙織（さおり）は、夫と結菜の3人家族で、この春、湖南省に引っ越してきたばかり。初めは不安もあったけれど、近所の人たちはみな温かく声をかけてくれ、すぐに馴染むことができた。

夏祭りの会場では、小学生が目をきらきらさせながらヨーヨー釣りに夢中。ステージでは、高校生たちがダンスパフォーマンスで観客をわかせている。子育て世代は進んで運営に協力し、シニア世代はこどもたちの安全を優しく見守っていた。

みんなで共に進める仕組みをつくろう

そんな中、結菜が友だちと楽しそうに来場者に笑顔で説明している。

「私たちは、地産地消のレシピ開発を企画しました」

その姿を見て、沙織は思わず胸が熱くなった。

「昔は自治会って堅苦しいイメージだったけど、まったく変わったわ」

こどもからお年寄りまで、自然と手を取り合い、笑顔でつながっている
——まさにこのまちの魅力は、そこにある。

—10年後

結菜は県内の大学を卒業し、地元の企業に就職。沙織は今、40～50代の住民たちとともに、夏祭りの運営の中心を担っている。

今年は中学生と企業のコラボ商品「いしべえ丼」が出店予定で、湖南省のNEWソウルフードとして注目を集めている。結菜も就職先企業の体験ブースを担当することになった。沙織は会場の準備をしながら、親子で夏祭りに関わる不思議な縁を感じ、10年の日々をなつかしく振り返った。

※この物語は、第三次湖南省総合計画ワークショップの“みんなでつくる将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。実在の人物や団体などとは関係ありません。

第1章

1. 湖南省版小規模多機能自治の推進

施策1

小規模多機能自治の推進



これまでの取組

地域まちづくりフォーラムの開催などを通じた地域との意見交換や地域まちづくり協議会への担当職員による支援、交付金の適正化などコミュニティプランの実現に向けた支援を行ってきました。

めざす姿

市内4箇所の中学校区を生活圏域としてサポートする体制、連携の形を確立していきます。地域主体の特色ある地域づくりへの支援がされ、地域まちづくり協議会が中心となって地域が自らできることに主体的に取り組んでいます。

実施方針

- 小規模多機能自治センターの整備（4中学校区の拠点の確立）
- 市民と行政の協働の推進
- 地域まちづくり協議会の活動促進

施策2

地域コミュニティの活性化



これまでの取組

地域代表者会議や研修会を通じて区・自治会運営の先進事例を学んできました。地域まちづくりフォーラムの開催などを通じて、若い世代との対話に取り組んできました。一方で、地域の帰属意識や連帯感が薄れつつあり、区・自治会の加入率の低下、地域コミュニティの希薄化が進みつつあります。

めざす姿

こどもから高齢者まで全ての世代が地域づくりに関わり、世代間交流を通じて将来の地域づくりの担い手が育まれる環境が整っています。

実施方針

- 地域コミュニティプランによる主体的な地域づくりに向けた協働、助言
- 地域の担い手となる若い人財の育成支援
- 地域課題への関心を高めるための情報提供や学習機会・伝統行事などへの支援

施策3 中間支援組織の検討



これまでの取組

地域まちづくり協議会では、持続可能なまちづくりをめざし、まちづくり団体などとの協働により、地域特産品の開発やちょこっとカフェなどのコミュニティビジネスを進めてきました。

めざす姿

NPO、ボランティア組織、企業のほか福祉、商工業などの団体が連携し、地域に根ざしたコミュニティビジネスを展開することで持続的なまちづくりが展開されています。

実施方針

- あらゆる主体との協働による地域まちづくりの推進
- 人財育成や専門家との協働によるコミュニティビジネスの充実

施策4 幅広い層の市民参画の促進



これまでの取組

グループワークを取り入れた対話型のタウンミーティングの開催や市長への手紙などにより、対話を通じて市政への理解を深めてきました。各種行政計画の策定過程にパブリックコメントを実施することで、市政への参画機会を設けてきました。

めざす姿

若者を含め幅広い世代が、タウンミーティングや各種委員会・審議会に参画し、市政に意向が反映されています。

実施方針

- 幅広い世代からの市政に対する意見・提案機会の拡充
- 各委員会・審議会の公募委員の確保

施策5 行政からの情報公開の拡充



これまでの取組

情報公開室を設置し、各種行政資料の公開を行いました。湖南省ホームページや湖南省メール、湖南省公式ソーシャルメディアによる情報発信に取り組んできました。

めざす姿

庁内各課から市民にとって有益で魅力的な行政情報が多様な媒体によって発信され、だれもが気軽に必要な情報にアクセスできるようになっています。

実施方針

- 行政情報の自主的・積極的かつ迅速な公開
- パブリシティに対する全庁的な意識向上
- 行政情報の拡充

第1章

2. 地域防災の推進

施策1 地域の自主防災組織の充実



これまでの取組

地域の自主防災組織の設立、防災訓練などの活動を推進するため、支援の制度を整えてきました。

めざす姿

日頃からの住民の防災に関する取組が活発になり、身近な地域の防災力が向上し、災害発生時においても、だれ一人取り残されない安心が確保されています。

実施方針

- ふるさと防災チームをはじめとした地域の自主防災組織の充実
- 防災訓練・研修などの充実による防災意識の高揚
- 「向こう三軒両隣」のコミュニケーション強化

施策2 防災体制の確立



これまでの取組

区・自治会単位での自主防災組織の設立を促進し、身近な地域の防災力向上を支援してきました。

「消防団」や「湖南省防災士連絡会」など専門性の高い部隊との連携強化に取り組んできました。

めざす姿

消防団、防災士、消防署など防災に関わる関係主体の連携体制が中学校単位で確立され、地域の防災体制がより強固なものとなっています。

実施方針

- 関係主体のネットワークの構築
- 「消防団」や「湖南省防災士連絡会」による専門部隊の体系化

施策3 避難所の機能の充実



これまでの取組

防災出前講座、避難所開設・運営訓練などの実施により、防災意識の向上を図り、地域の避難所運営体制の強化に努めてきました。

避難所の開設・運営の課題点などについて関係者間で情報共有するため、意見交換会を開催してきました。

めざす姿

女性や要援護者などの視点が入り入れられた地域の避難所運営体制が確立され、だれもが安心して避難できます。避難所にも安心して避難できるよう避難体制や物資の提供体制などの準備が整っています。

実施方針

- 地域の避難所運営体制の整備

3. 地域福祉の推進

施策1 地域福祉体制の充実



これまでの取組

少子高齢化や一人暮らし世帯の増加が進む中、地域の困り事を自分事と捉え、地域でまるごと支える仕組みづくりを推進してきました。

めざす姿

地域の困り事に関する情報プラットフォームが確立されており、関係主体間が連携し、困り事の解決にスムーズにつながっています。

実施方針

- 多様な相談内容から支援につなげる重層的体制の整備
- 関係主体間の情報の共有

施策2 住民主体の地域福祉活動の促進



これまでの取組

地域まちづくり協議会ごとに地域支えあい推進員が設置され、地域課題の取りまとめや解決方法の検討などがなされてきました。

ボランティアセンターが実施するボランティア育成事業の広報を行ってきました。

めざす姿

地域住民と地域支えあい推進員が連携して安心できる居場所づくりなどの地域福祉活動が活発になっています。

実施方針

- ボランティア人財、ボランティア活動の周知とマッチング
- 地域の居場所や相談できる場づくり

第1章

4. 外国人市民の地域定着、生活支援の充実

施策1

コミュニケーションの支援



これまでの取組

通訳職員や窓口職員が、外国語および「やさしい日本語」を活用して外国人市民のニーズに対応してきました。庁舎や保健センター、まちづくりセンターにタブレット、自動翻訳機を設置し、多言語化への対応を進めてきました。

めざす姿

適切な通訳や窓口職員による「やさしい日本語」、デジタル機器の活用などによりコミュニケーションが円滑に行われています。

実施方針

- 適切な通訳と「やさしい日本語」の全庁的な周知・活用の推進
- AIコミュニケーション機器の拡充
- 多言語での湖南省の各種情報などの発信

施策2

安心できる生活の支援



これまでの取組

湖南省一元的外国人相談窓口を設置して、さまざまな相談に対応してきました。依頼に応じて、外国人技能実習生への生活オリエンテーションを行い、日本での生活や防災について通訳者を通して説明を行ってきました。広報こなんやごみカレンダーなどを翻訳し、情報提供を行ってきました。

めざす姿

湖南省一元的外国人相談窓口が周知され、外国人市民のさまざまな不安の解消、問題の解決につながっています。こどもから高齢者まで全ての世代が地域づくりに関わり、世代間交流を通じて将来の地域づくりの担い手が育まれる環境が整っています。

実施方針

- 地域コミュニティに溶け込みやすい環境づくり
- 文化の違いによる地域問題の解決支援の促進

施策3

異文化コミュニケーションの充実



これまでの取組

関係機関と連携し、異なる文化についての学習や交流の機会づくりの促進と啓発を行ってきました。関係機関や地域の活動と連携し、外国人市民が参画し、交流できるイベントを支援・周知してきました。

めざす姿

日本人も外国人市民も同じ地域社会でともに生き、ともに支えあうという意識がさらに醸成され、多文化共生社会が実現しています。

実施方針

- 相互理解を深める異文化コミュニケーションの促進
- 多文化共生に向けた学びあいの機会の創出
- セントジョンズ市をはじめ海外との親交を通じた人財育成の推進
- 関係団体との協働による多様な交流事業の推進

5. 地域まちづくりの担い手の確保

施策1

多様な主体のつながりの形成



これまでの取組

地域まちづくりフォーラムでの地域まちづくり協議会の活動、こなんSDGsカレッジや市内の中学生・高校生による事例発表など、地域との意見交換を行ってきました。

めざす姿

NPOや地域まちづくり協議会などのまちづくり活動団体同士が連携しながら交流・体験を実施し、若い世代を中心とした人財が育まれています。

実施方針

- 市民・団体間のネットワークの構築
- 市民活動の活性化や継承に対する支援
- 若い世代を中心とした人財育成の機会創出

施策2

ふるさとへの愛着づくり



これまでの取組

ふるさと納税やこなんSDGsカレッジ修了生によるプロジェクトなど、地方創生に関する制度を活用しさまざまなシティプロモーションを実施してきました。

めざす姿

若者やものづくり人財（経営者・職人など）が活躍し、さまざまなまちづくり活動が創出されています。

実施方針

- ふるさと応援人口の拡大
- ふるさと納税などを活用したシティプロモーション
- 地域や教育機関との協働による主権者教育の推進
- 産業界や教育機関との連携による先導的な取組の促進

6. 多様な市民が参画する仕組みづくり

施策1 移住・定住の促進



これまでの取組

移住定住サイトを活用した情報発信や移住相談会における湖南市の魅力のPR、結婚新生活を支援してきました。

めざす姿

湖南市への移住を検討している人のそれぞれの段階に応じた支援が整備され、移住者の増加につながっています。

実施方針

- まちの魅力の情報発信・相談支援の強化
- 移住の受け皿となる体制整備・支援の充実
- 地域とつながる体験・交流の支援
- 結婚に関する支援・若者に向けた情報発信

施策2 関係人口の創出



これまでの取組

空き家活用やテレワーク、コワーキングスペースなどの整備により、関係人口の増加を図ってきました。

めざす姿

第2のふるさとづくりとして、関係部署や民間事業所などとの連携により、地域の人財を活用した新たな交流の場が創出されています。

実施方針

- 第2のふるさとづくりの受け皿となる環境整備
- 地域人財などを活用した新たな交流の場の創出

7. 人権尊重と恒久平和の追求

施策1

人権尊重の徹底とあらゆる差別の撤廃



これまでの取組

人権尊重の理念の浸透と差別の撤廃に向け、関係機関と連携しながら、人権教育・啓発事業を展開し、家庭・地域・学校・園・企業における人権意識の高揚を推進してきました。

めざす姿

部落差別をはじめ、障がいのある人、子ども、女性、高齢者、外国人などに対する人権侵害や差別に対する基本的な知識や理解・認識が深まり、人権尊重が徹底されています。

実施方針

- 人権意識の高揚に向けたあらゆる差別に対する関係機関と連携した啓発活動の推進
- あらゆる差別に対する相談体制の強化
- 正しい理解・認識と実践につなげる人権学習の機会・内容の充実
- 湖南市学校・園人権教育基底プランによる内容の実践
- 地域総合センターによる支援活動の充実
- 企業内人権のきめ細かな啓発、研修の推進
- 企業の自発的な取組への支援

施策2

相談体制の充実



これまでの取組

部落差別、外国人差別、障がいのある人への差別、虐待、いじめ、DV、ハラスメント、ストーカーなど、人権に関わる相談が多様化しており、相談に的確かつ迅速に対応して被害者保護や早期解決を図るため、関係機関・団体などと密接な連携による取組を行ってきました。

めざす姿

だれもが利用しやすい相談窓口が設置され、多様化する人権相談に対応し、市民の立場に立った相談が行われています。

実施方針

- 関係機関・団体などの多様な相談窓口との連携による総合的な相談体制の強化
- 相談員の育成
- 相談窓口の周知

施策3

「非核平和都市宣言」の啓発



これまでの取組

2005 年度（平成 17 年度）に、あらゆる国の核兵器の廃絶を訴え、人間の尊厳を守り、基本的人権の尊重と恒久平和を求めるため「非核平和都市宣言」を宣言しました。2009 年度（平成 21 年度）に平和首長会議に加盟し、平和に関する啓発活動に取り組んできました。

めざす姿

戦争体験者の体験の語り継ぎが次の世代へと継承され、戦争の惨禍を風化させることなく、後世に世界平和実現の願いが引き継がれています。

実施方針

- 平和啓発の推進

第1章

8. ジェンダー平等の達成

施策1

ジェンダー平等の啓発



これまでの取組

家庭や地域・学校・企業などあらゆる社会活動の場で男女共同参画社会についての理解が進むよう、啓発用DVDの貸出や講座を開催し、啓発に努めてきました。

めざす姿

家庭・地域・学校・企業などあらゆる場でジェンダー平等の意識が浸透し、男女が同等に家事・育児・介護を担い、仕事と両立できています。

実施方針

- 家庭・地域・学校・企業などあらゆる社会活動の場でのジェンダー平等の啓発活動の推進
- だれもが働きやすい職場環境に向けた企業への啓発活動の推進

施策2

だれもが参画できる環境整備と社会参加の促進



これまでの取組

女性が社会に参加しやすい環境整備とともに、審議会や区・自治会における女性の参画を推進してきました。活躍事例の情報共有を行い、啓発してきました。湖南省主催講座の開催の際に、予約制の託児サービスを実施してきました。

めざす姿

性別・性差に関係なくだれもが社会に参加しやすい環境整備が進み、政策決定、地域活動での意思決定に意向が反映されています。

実施方針

- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 地域・社会参加を促進するための環境整備
- 政策決定、地域活動での意思決定の場への女性登用の促進
- 女性職員の管理職への登用の推進

施策3

相談および支援体制の充実



これまでの取組

人権相談ネットワーク協議会などの関係機関との連携により、相談内容の多様化に対応してきました。また、女性の悩み相談（月2回）・人権なんでも相談（月2回）を実施するとともに、就労相談の開催や女性活躍の事例集などによる啓発により、女性の社会参加を促進してきました。

めざす姿

ジェンダーを取り巻く社会的問題や心身の健康に関する問題を受け止め、解決や自立へ導く相談体制が充実しています。

実施方針

- 関係機関との連携による相談体制の強化
- 相談員の育成
- 相談窓口の周知

施策4

性的マイノリティへの理解促進



これまでの取組

関係団体と連携し、啓発パンフレットの作成・配布、広報こなんやホームページで啓発を行い、多様な性に関する理解を深めてきました。

めざす姿

性別・性的指向・性自認・性表現に関わらず、自分らしく生きることが尊重される社会が実現しています。

実施方針

- 啓発活動の推進

第2章 自然を生かし、自然と共生するまちづくり

～湖南省みらいものがたり Episode 2～

「ねえパパ、今日もあの公園に行こうよ!」

7歳の優月（ゆづき）が、目をキラキラ輝かせながら言った。

小さな家族が何度も通ったあの公園。そこで作った泥だんごは、まるで宝石のようにピカピカに光っていた。ぽかぽかの陽だまりの丘を、笑顔で駆け回ったあの時間は、優月にとってかけがえのない思い出だ。

湖南省では、地域の特色を生かしたふれあい公園や都市公園の再編・再整備によって、使いやすく魅力あふれる場所がある。優月の住む地区には、小さくても美しい花壇ができ、四季折々の花が彩り、住民同士の自然なふれあいの場になっている。

優月は帰り道、散歩中の子犬に触れたり、友だちと遊んだりして過ごしていた。

うるおいのあるまちをつくろう

—10年後

高校2年生になった優月は、となりまちの友だちと「にじいろ公園」にやってきて、釣りを楽しんでいた。「にじいろ公園」は自然豊かで、だれでも使いやすいユニバーサルデザインの遊具が並び、親子連れからお年寄りまで、幅広い世代が集うふれあいの場になっている。公園でみる親子が小さい頃の自分の姿と重なり、思わず笑みがこぼれた。

「湖南省にはおもしろい公園がいっぱいっていいなあ」

友だちが釣り竿をゆらしながら言った。

「他にもいろんな公園があるよ」

優月はスマート端末を開いて友だちにみせた。

「この公園、すごいな。砂でこんなに大きな城をつくってるぞ!」

友だちがみつけた公園の写真に、優月は小さい頃のわくわくした気持ちがふわりとよみがえってくるのを感じた。

※この物語は、第三次湖南省総合計画ワークショップの“みんなで作る将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

第2章

1. こなんSDGs 未来都市の推進

施策1

地域自然資源を活用したエネルギーと経済の循環による地域活性化の推進



これまでの取組

こなんウルトラパワー株式会社のノウハウを活用し、公共施設、民間施設への太陽光発電設備の設置を図り、地域の自然エネルギー活用を推進してきました。

めざす姿

こなんウルトラパワー株式会社を核として、地域の自然エネルギーの活用が広がり、エネルギーと経済の地域内循環が確立されています。

実施方針

- 地域の自然エネルギーを活用した取組の推進
- 自家消費型屋根借り太陽光発電への参画
- 家庭での自然エネルギー活用寄予する取組の推進
- エネルギーの地産地消の推進

施策2

地域資源との関わりを見つめ直し、だれもが参画できるまちづくりの推進



これまでの取組

市内福祉作業所と連携し、太陽光エネルギーを活用したサツマイモ栽培や加工品の販売、新たな農作物の検討に取り組み、木質バイオマス燃料の安定供給の取組を開始してきました。

めざす姿

市民・福祉事業者・大学などとの連携による木質バイオマスの取組など、だれもが参画できる取組によるさりげない支えあいのまちづくりが広がっています。

実施方針

- 市民・事業者の交流促進による利益の地域循環の推進
- 農福連携の取組推進によるイモ製品の開発など6次産業化の推進
- ソーラーシェアリング活用の促進
- 林福連携推進による木質バイオマス燃料の供給の推進
- SDGsに関する地域資源教育の推進

2. 脱炭素の地域づくり

施策1 地球温暖化対策の推進



これまでの取組

SDGs 出前講座などを通して、公共交通機関の利用や徒歩・自転車での移動が温室効果ガス排出抑制や健康維持に繋がることが啓発してきました。自然エネルギーの利用促進を図ってきました。

めざす姿

省エネルギー型のライフスタイル、ワークスタイルが定着し、環境への負荷のない自然エネルギーへの転換が進んでいます。

実施方針

- 自然エネルギーの活用や省エネルギーの普及促進
- 屋上緑化や緑のカーテンの普及率の向上
- 事業所への高効率型機器の導入促進
- 温室効果ガス排出抑制のための公共交通機関などの利用促進

施策2 強靱性と脱炭素を両立した持続可能なまちづくりの推進



これまでの取組

こなんウルトラパワー株式会社が設備保有するスキームにより、公共施設への太陽光発電設備と蓄電池の設置導入による非常時の電源の確保に取り組んできました。

めざす姿

小売電力事業を軸に省エネルギーサービス事業も展開され、自然エネルギーを活用した地域分散型電源が普及し、災害時に備えたエネルギー供給の強靱性が確保されています。

実施方針

- 地域主導による自立分散型エネルギーの導入促進
- エネルギーを主眼に置いた効率的な公共施設の維持管理の推進
- 災害時のエネルギー供給の保持
- 地元企業とのカーボンニュートラルの連携・支援強化

第2章

3. 魅力的で個性的な拠点となる公園の充実

施策1

拠点の公園の充実



これまでの取組

都市公園の一角を利用した地域による花植えなどの活動や恵まれた自然を生かし、市民が身近に自然にふれることのできるレクリエーションの場づくりを推進してきました。

めざす姿

地域の拠点的な公園が、市民のレクリエーションや憩いの場などとして充実し、多くの市民に有効活用され、賑わっています。

実施方針

- 市民交流やふれあいの場づくりの充実
- 公園サポーター制度による市民参画の推進

4. 身近な公園の再編

施策1

身近な公園の再編



これまでの取組

こどもからお年寄りまで多くの市民が快適に憩える身近な公園として、遊具施設などの安全点検や施設修繕を行うとともに、老朽化した公園については市民が利用しやすい形態に再整備の検討を進めてきました。

めざす姿

地域が主体となり維持管理が持続できる公園がバランスよく配置され、だれもが安心して利用でき、自由にくつろぐことのできる場が身近にあります。

実施方針

- 地域などとの連携による魅力ある公園整備
- 市街地や住宅地における公園機能の再編および集約化

施策2

公園の利用・維持管理の効率化



これまでの取組

公園遊具施設点検を実施し、危険度の高い遊具について、撤去または修繕を行ってきました。

除草などの日常管理は地元の区・自治会で行い、身近な公園の管理が行われてきました。

めざす姿

地元住民の協力のもと公園の日常管理と施設の点検が行われ、計画的に修繕が進められています。

実施方針

- 遊具施設の安全管理など公園施設の計画的な維持管理
- 指定管理者制度の導入や地元への委託など整備管理体制の充実

第2章

5. 自然環境・生態系の保全

施策1

生物多様性の保全



これまでの取組

小学生を対象とした施設見学を受入れ環境学習を実施し、高校生によるフィールドワークを行ってきました。

めざす姿

自然や生き物の豊かな個性とつながりを大切にし、人間を含め多くの生物が調和しながら暮らす健全な生態系が維持されています。

実施方針

- 希少な野生生物の生育・生息環境に配慮した健全な生態系の維持
- 地域・学校などにおける環境教育・環境学習の推進

施策2

自然資源の保全



これまでの取組

国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」などの特徴的な自然資源を地域と協働して保全してきました。

森林環境譲与税を活用し、森林・里山が持つ多面的機能の維持・増進を図ってきました。

めざす姿

国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」を含め、森林・里山の保全への関心が高まり、事業者や市民が関わりながら健全な森林・里山環境が保全されています。

実施方針

- 国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」の計画的な保全活動の継続
- 生活環境保全林などの適正管理
- 里山保全活動の推進
- 無秩序な伐採や開発の規制、環境に配慮した森林整備などの実施

施策3 水辺の環境の保全



これまでの取組

地域住民と行政の協働の観点から河川愛護活動を通じ、河川環境の美化を推進してきました。

河川の水質調査を実施、結果をホームページに掲載し、河川の環境保全に努めてきました。

めざす姿

湖南省の恵まれた自然環境の象徴である野洲川は、市民の積極的な関わりのもと、美しい河川環境が保全されています。その他の河川についても多世代が河川愛護の精神で清掃活動などを実施しています。

実施方針

- 琵琶湖と関連水系保全のためのネットワークづくりの推進
- 河川の水質などの情報提供や保全活動への支援
- 河川環境美化と保全活動への支援

施策4 つながりで守り育む体制づくり



これまでの取組

湖南省の良好な自然環境を生かしながら、住みよいうるおいのあるまちづくりを推進するため、環境団体と連携して、森や川の勉強会などのこどもが参加できる取組や清掃活動を実施し、ボランティアの育成に取り組んできました。

めざす姿

森林や川が美しく保たれているとともに、自然環境を学習やレクリエーションの場として活用するための環境が整い、市民が自然と親しむ機会が増えています。

実施方針

- 市民・事業者・環境関連団体などが連携した推進体制による取組の推進
- 市民協働による自然体験やレクリエーションの機会づくり、学習環境の整備
- 学習ボランティア・団体などの育成支援

第2章

6. 循環型社会の形成

施策1

省資源・リサイクルの推進



これまでの取組

食品ロス削減に向けた啓発、生ごみ減量化推進補助金やリサイクル推進活動奨励金の交付を通じて、ごみの減量化やリサイクル活動を推進してきました。

めざす姿

市民・事業者・行政が相互に役割を分担し、一体となった省資源・リサイクル活動が定着しています。

実施方針

- 市民・事業者・行政の協働による3Rの推進
- 資源の有効活用とリサイクル率向上

施策2

適正なごみ処理、不法投棄の防止



これまでの取組

甲賀広域行政組合衛生センターでは可燃ごみの処理、リサイクルプラザでは一般家庭の不燃ごみ・粗大ごみの破碎処理、缶類・ペットボトルの中間処理を行ってきました。不法投棄パトロールを実施するとともに、看板の設置などの啓発活動に取り組んできました。

めざす姿

甲賀広域行政組合衛生センターの適正な保全管理と設備の改修整備が行われ、安定的に稼働しています。

山林の不法投棄がなくなり、美しい自然景観が保全されています。

実施方針

- ごみ処理施設の計画的な維持管理
- 県と連携した指導のもと民間の産業廃棄物処理施設の維持管理および改善の促進
- 市民・事業者・行政の協働による山林などの巡回・監視や啓発活動による不法投棄の防止
- 市民・各種団体・企業などのごみの自主回収活動への支援

施策3

循環型の暮らしの定着



これまでの取組

リサイクルプラザでは、小学生を対象とした施設見学を受入れるなど、環境学習を実施してきました。また、高校生によるフィールドワークも実施してきました。環境団体と連携してボランティアの育成に取り組んできました。

めざす姿

環境について考え、実践する人財やボランティアグループが活躍し、広く市民に循環型の生活スタイルが定着しています。

実施方針

- 環境学習の充実
- 環境ボランティアの育成・支援

第2章

7. 上下水道の整備

施策1

上水道施設の整備と管理



これまでの取組

水道事業の包括委託契約を行い、24 時間体制の水源の監視システムにより安全な水の安定供給と財政の健全化に努めてきました。

老朽配水管の更新などを計画的に推進してきました。

めざす姿

市民に安全な水を安定供給する上水道体制が整い、長期的な視点で上水道財政が健全に運営されています。

実施方針

- 長期的な水需要の変動に合わせた施設規模の最適化
- 水道施設の計画的な維持管理および更新
- 包括業務委託などによる経営効率化の推進

施策2

下水道施設の整備と管理



これまでの取組

市民の快適な居住環境と河川などの公共用水域の水質保全のため、健全な財政運営に努めながら、下水道施設の計画的な維持管理とともに水洗化の普及促進を行ってきました。

めざす姿

長期的な視点で下水道財政の健全運営が行われ、計画的な下水道の新設および更新がされ、快適な居住環境と河川などの水質が保全されています。

実施方針

- 未整備地域への計画的な下水道整備
- 下水道施設の計画的な維持管理
- 広報活動の充実による水洗化の普及促進
- 包括業務委託などによる経営効率化の推進

第3章 人と産業が集い、公共交通でつながるまちづくり

～湖南省みらいものがたり Episode 3～

「お母さん、宿題の本を借りに図書館に行きたいから、車で連れてって!」

小学4年生の颯太(そうた)に頼まれ、母の綾乃(あやの)は玄関先に出た。そしていつものように、隣に住む一人暮らしの幸子おばあさんに声をかける。

「図書館まで行きますが、幸子さん、何か買ってきて欲しい物ありますか？」

颯太はもちろん、幸子さんも車を運転できないので移動は大変だ。

小さな日常の中にある、小さな優しさ——ご近所同士の助け合いも大切だが、湖南省は、優しさに頼るだけでなく、公共交通や都市計画、企業誘致といった政策を推し進めている。これは、行政だけでなく企業や住民も力を合わせ、地域の知見やネットワークをフル活用した取り組みだ。

やがて、「バスや電車をもっと利用しよう」とする企業の取組が市民全体へ広がり、誰でも好きな時に、好きなところへ移動できるまちづくりが形づくられていった。

活気あるまちをつくろう

—10年後

「この前、幸子さんもいろんなライドシェアで病院に行けるようになって、本当に助かったって言ってたわ」

「うん。駅行の便に乗る人も増えて電車の本数も増えたしね。それに国道1号も広くなって、通勤がスムーズになったよ」

颯太は高校を卒業し、地元企業でインターンを経験中だ。スマートIC周辺にはグローバル企業が進出し、駅の近くや県道4号沿いには、特色あるテナントやおしゃれなレストラン、ショップが並ぶ。

市民、企業、行政がいろんな困り事をシェアできる空気があって、お互いに補いあい、支えあう、「住みやすさってこういうことなんだろうな」と綾乃は実感している。

※この物語は、第三次湖南市総合計画ワークショップの“みんなでつくる将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

第3章

1. 公共交通の見直し

施策1

地域公共交通の再構築



これまでの取組

市内のＪＲ草津線３駅について、順次、バリアフリー工事などを進めてきました。コミュニティバスの利用増進に向け、市民ニーズに基づいた取組を推進してきました。また、高齢者の移動支援事業に取り組む地域まちづくり協議会もあります。

めざす姿

地域の公共交通サービスのあるべきサービス水準などについて広く認識が共有化され、利用者が増加し、満足度が高まっています。

実施方針

- 事業運営計画の見直し
- 公共交通機関による利便性の向上

施策2

ＪＲ草津線複線化の促進



これまでの取組

県や沿線市町などと滋賀県草津線複線化促進期成同盟会を組織し、ＪＲ西日本に対してＪＲ草津線の複線化に関する要望活動、利用促進事業を行ってきました。

めざす姿

ＪＲ草津線沿線全体の魅力が向上し、利用客数が順調に増加しています。

実施方針

- ＪＲ草津線の利用客数増加に向けた一体的な取組の推進
- 関係団体などとの連携によるＪＲ西日本への継続的な要望活動の推進

施策3

地域の支えあいによる移動支援の推進



これまでの取組

「送迎支援・支えあい活動」を実施する地域まちづくり協議会への支援を行ってきました。同様の取組を実施し、高齢者の交通手段の確保を検討している地域まちづくり協議会もあります。

めざす姿

地域住民の支えあいによる身近な交通手段が確保され、湖南市全体の取組へと広がり、買い物や通院などさまざまな目的において市民の移動の支えになっています。

実施方針

- 地域主体による身近な交通手段確保の取組の支援
- 新たな交通手段の導入検討

2. バスの利便性向上

施策1 バスの利便性向上



これまでの取組

有識者や市民を交え地域の実情に即したサービスを実現するための協議・検討会を実施してきました。

めざす姿

J R草津線への接続が確保され、他の交通手段と分担しながら利用しやすいサービスが提供され、利用者が増加し、満足度が高まっています。

実施方針

- 企業連携や市民ニーズ、地域づくりの動向に基づくサービス改善によるコミュニティバスの利用促進

施策2 モビリティ・マネジメントの推進



これまでの取組

交通事業者と連携し、バスを使った乗降体験や利用マナーなどの交通環境学習を湖南市内の小学校で実施してきました。

めざす姿

バスの利用に親しむ人が増え、公共交通全体の利用者が増加しています。

実施方針

- 地域モビリティ・マネジメントの推進

第3章

3. 駅周辺のまちづくり

施策1

3 駅周辺のまちづくりの推進



これまでの取組

立地適正化計画に基づく届出制度により、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通などのさまざまな都市機能の誘導を行ってきました。JR草津線3駅のバリアフリー化、石部駅自由通路の整備、三雲駅周辺のインフラ整備を推進してきました。

めざす姿

公共交通と併せて3駅周辺の利便性が高まるとともに、駅の周辺に憩いの場や都市機能の立地が進み、賑わいを感じられます。

実施方針

- 都市機能の集約化などコンパクトなまちづくりの推進
- 駅ロータリー周辺における環境整備の促進
- 地域特性に応じた駅周辺の賑わいの創出

4. 計画的な市街地・住環境整備

施策1

都市計画の推進と市街地の整備



これまでの取組

湖南省都市計画マスタープランに基づき、生活の利便性を向上させる土地利用を推進するとともに、人口減少社会を見据え、湖南省立地適正化計画に基づく都市機能の集約化を推進してきました。

めざす姿

人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを基本としつつ、利便性が確保され、快適で魅力的なまちづくりが進められています。

実施方針

- 防災対応、ユニバーサルデザインに配慮した公共施設の整備充実
- 立地特性を生かした民間活力誘導の促進

施策2

良好な景観の形成



これまでの取組

景観法に基づく届出行為の審査や協議を通じて良好な景観の形成を推進してきました。景観重点地区では、ボランティアや住民との協働により良好な景観の形成に取り組んできました。広報こなんに景観に関する特集記事を掲載し、景観形成の意識の醸成を図ってきました。

めざす姿

自然や歴史を感じさせる優れた景観資源を生かした湖南省らしい良好な景観が市民・事業者・行政の協働により形成されており、地域の魅力が高まっています。

実施方針

- 景観づくりの情報提供など意識啓発の促進
- 重点地区を中心とした市民主体の景観づくり活動への支援
- 景観に配慮した公共施設の整備

第3章

4. 計画的な市街地・住環境整備

施策3

住環境の整備・地籍調査の実施



これまでの取組

地域の特性を踏まえつつ各種の都市計画制度や民間開発の誘導、地籍調査の推進などに取り組み、市民にとって住みやすい良好なまちづくりを推進してきました。

めざす姿

湖南省の発展に資する開発の適正な誘導、将来を見据えた都市計画制度の計画的な活用により、地域の特性に応じた住みよい良好なまちづくりが進められています。

実施方針

- 地区計画や都市計画提案制度などの地域の特性・意向を踏まえた創意ある市街地形成
- 生活環境などに配慮した住宅開発の推進
- 地域連携による地籍調査の推進
- 適切な開発誘導の推進

施策4

住宅環境の改善



これまでの取組

地震による建築物の倒壊などの被害から市民の生命・財産を守るため、木造住宅耐震診断の実施や制度の周知など住宅耐震化率の向上に取り組んできました。

めざす姿

住宅の耐震性が高まり、地震に対する安全性が高まっています。さまざまな事情で住宅の確保に困窮する市民への支援が整い、住宅セーフティネットが確保されています。

実施方針

- 住宅耐震診断・耐震改修の啓発・支援
- 住宅の健康被害に関する情報提供と相談体制の充実
- 高齢化社会に対応した公営住宅のユニバーサルデザイン化の推進
- 公営住宅の長寿命化・個別改善・建替え
- 市民の安全を脅かす構造物の撤去への支援

施策5 空き家対策の推進



これまでの取組

空き家サポートセンター「あきやナクス」を拠点として相談窓口の一元化、発生予防啓発や管理サポートなどの空き家の適正管理を推進してきました。

めざす姿

空き家の適正管理と利活用が進み、周辺の生活環境に悪影響を及ぼす可能性のある空き家は減少しています。

実施方針

- 空き家の適正管理および利活用の促進
- 管理不全空き家・特定空き家に対する法に基づく助言・指導など

施策6 火葬場の整備、霊園・墓地の適正管理



これまでの取組

火葬場の湖南省浄苑では適切な市民サービスを行うとともに、ペットなどについても個別火葬を行うサービスも展開してきました。

めざす姿

火葬場の受入設備の定期的な保守点検、計画的な更新・維持修繕が着実に進んでおり、火葬需要のニーズ変化にも対応ができています。

実施方針

- 火葬需要に対応したサービスの向上
- 火葬場の整備、霊園・墓地の適正管理

第3章

5. 企業立地の促進

施策1

魅力的な企業の誘致



これまでの取組

栗東湖南 I C や国道 1 号開通による広域交通の利便性の高さに企業の注目が集まっており、就職説明会を開催するなど人材育成・確保の支援を実施してきました。商工会と連携し、新規創業者の育成、伴走型での支援を実施してきました。

めざす姿

多様化する就労ニーズやDXに対応しながら、さまざまな魅力的な企業が経済活動を展開されています。

実施方針

- 企業誘致および創業支援制度の充実
- 用地確保などの産業立地の支援

施策2

産業の魅力化・シティセールス



これまでの取組

旧東海道沿いの酒蔵や正藍染・近江木綿、近江下田焼、近江一閑張などの工芸品があり、関係団体と連携して各種の展示・商談会や販売促進の機会を提供し、地場産業を含む情報発信などを支援してきました。

めざす姿

湖南市の風土に根付いた地場産業の魅力が広く伝わり、新たな魅力を兼ね備えた地域産品が開発され、地域では産地形成に向けた活動が展開されています。

実施方針

- 地場産業の情報発信支援
- 新たな特産品づくりと産地形成の支援

6. 企業、大学、行政による連携機会の創出

施策1

産学官連携の推進



これまでの取組

工業会が実施する産官交流会と連携し、企業と行政の共創について理解を深めてきました。商工会との連携による創業塾を開催し、受講者のフォローアップと新規創業者の育成、伴走型での支援を実施してきました。

めざす姿

企業、大学などの研究機関と連携し、産業の活性化や地域課題の解決に向けたまちづくり活動が展開されています。

実施方針

- 企業、大学などとの産学官連携および異業種連携の機会創出

第3章

7. 産官学金労言士によるまちづくりの推進

施策1

産官学金労言士の連携による地域活性化



これまでの取組

「健康状態の可視化の仕組み」、「運動」と「食」に強みを持つ企業、大学と連携協定を締結し、取組を行ってきました。

めざす姿

企業、大学などの研究機関に加え金融機関（資金調達）、ハローワーク（労働力確保）、メディア（広報・プロモーション）、士業（経営・法務）と連携し、それぞれの得意分野を生かした強力な体制が整備されています。

実施方針

- 産官学金労言士の連携体制の構築

施策2

社会実験・先導的モデルの実施



これまでの取組

公共交通に関する課題においては、デマンドタクシーの実証実験などを行ってきました。

めざす姿

企業、大学などとの連携により、公共交通などの地域課題を解決するための社会実験や先導的モデル事業が展開され、地域が活性化されています。

実施方針

- 地域課題の解決に向けた社会実験の実施

8. 道路網・河川の整備

施策1

幹線道路の整備と管理



これまでの取組

国道1号などの高規格道路の整備により、市内の交通が大きく変化しており、安全で快適な交通体系確立に向けて滋賀県道路整備アクションプログラムとの整合を図りながら市道路整備計画を推進してきました。

橋梁長寿命化修繕計画に基づく5年サイクルでの定期点検実施により、維持管理を推進してきました。

めざす姿

湖南省全体の体系的かつ将来を見据えた道路ネットワークの形成に向け、計画的に幹線道路の整備が進められています。橋りょうの定期点検と長寿命化修繕が計画的に進められ、ライフサイクルコストの縮減や安全性が確保されています。

実施方針

- 湖南省道路整備計画の着実な推進
- 高規格道路を生かした地域幹線道路の整備促進
- 交通渋滞、野洲川による地域分断の解消などに向けた道路整備を促進
- 橋りょうの安全性確保と長寿命化を目的とした維持管理

施策2

生活道路・水路の整備と管理



これまでの取組

生活道路では、幹線道路の慢性的な渋滞などにより通過車両が進入してくることから、渋滞緩和対策と併せて生活者主体の道路として安全性に優れた道路整備を推進してきました。

めざす姿

身近な生活道路の渋滞緩和対策と併せて安全性、利便性が確保されています。

実施方針

- 地域の実情に応じた市道の整備・改良
- 生活道路の安全性、利便性の確保
- 道路や交通結節点におけるユニバーサルデザイン化
- 地域住民との協働による維持管理

第3章

8. 道路網・河川の整備

施策3

河川の整備



これまでの取組

国・県に対し野洲川の国直轄化の要望活動を行いました。また、野洲川の浚渫（しゅんせつ）工事は、県が計画的に実施しています。

落合川・大砂川の天井川の平地化を県に要望しており、落合川は平地化が事業化される見通しです。

めざす姿

国・県と連携し、未整備箇所を整備が着実に進み、災害リスクが低減しています。

実施方針

- 国・県への的確な要望活動による一級河川野洲川を整備促進
- 天井川や普通河川の水害未然防止のため適切な改修整備

9. 農林業の復興

施策1

農業の基盤整備と多面的機能の理解促進



これまでの取組

湖南市の農業振興地域においては、区画の整った優良な田園風景が形成されており、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策をはじめとする農地の有する多面的機能の発揮に向けた取組を推進してきました。

めざす姿

生産基盤の長寿命化、計画的な修繕が行われ、担い手農家による魅力ある農業が展開されています。

農業・農村が有する水災害防止や環境調節などの公益的機能への理解が広がり、優良な農地が保全されています。

実施方針

- 生産基盤の整備および維持管理
- 自然と共生する魅力ある農業の推進
- 地域農業の担い手の育成支援
- 農業の有する多面的機能の維持に関する支援

施策2

多様な農業の推進



これまでの取組

効率的かつ安定的な農業生産と収益性のある経営を進めるため、地域の農業を担う経営体としての農家への農地の集積および集約、集落営農の法人化を推進してきました。

めざす姿

地域農業を担う経営体への農地の集約が進むとともに、生産コストの低減が図られ農業経営の基盤が強化されています。

特産品のブランド力向上や農福連携が進むなど農業の持続可能性が高まっています。

実施方針

- 土地利用調整、優良農地の集積、営農活動の協業化など複合生産体制の確立
- 農業経営体の経営安定および発展支援
- 中間管理事業による担い手への農地利用の集積の推進
- 市内農業関連資源の連携促進と多様な農業ビジネス創出支援

第3章

9. 農林業の復興

施策3

みらい公園湖南の利用促進



これまでの取組

「ここぴあ」および「H A T」において市内産品の直売や収穫体験事業、各種イベントなどを実施し、市内産品の購入や人と人の交流の機会を創出してきました。

めざす姿

市内農業者による「ここぴあ」の活用機会が増加し、「ここぴあ」を核に市内農業の連携が活発化しています。また、「H A T」での飲食やイベント、体験を通じて湖南市の魅力が地域内外に発信されています。

実施方針

- 体験型農園の活用と市内農業関連資源の連携による地域農業への関心促進
- 市内農業関連資源の連携による特色ある商品の開発支援・情報発信の促進
- 地産地消の推進

施策4

林業の振興



これまでの取組

湖南市が管理する林道の補修や復旧などの必要な維持・改修を行って森林環境譲与税を活用し、地域団体や施設森林組合への支援を実施してきました。県や施設森林組合と連携しながら、計画的に間伐・造林を進めてきました。

琵琶湖森林づくりパートナー協定を締結し、企業の従業員などと地元森林所有者が協働で森林整備を進めてきました。

めざす姿

さまざまな形で森林に関心を持ち、関わる市民や企業が増加し、森林資源の有効活用が進んでいます。林道の補修や森林境界の明確化など林業振興の基本的な条件が整い、林業の担い手の確保・育成、森林の集約化が進んでいます。

実施方針

- 林道の適切な維持管理
- 林業の担い手の確保・支援
- 公共施設への地域材の活用および周知
- カーボンニュートラルなどの多角的な林業振興施策の展開
- 放置林対策として森林境界の明確化
- 森林レクリエーションの振興
- 琵琶湖森林づくりパートナー協定の推進

10. 工業の振興

施策1 魅力ある工業の推進



これまでの取組

湖南市の工業は、名神高速道路の開通以来、県下最大級の湖南工業団地を中心に企業が進出し地域経済を支えています。また、湖南市商工会、湖南工業団地協会、湖南市工業会などの各種関係機関との連携のもと、多様化する消費動向に対応したものづくりを支援してきました。

めざす姿

産学官の幅広い連携のもと、新商品開発・新技術開発・環境対応が進み、競争力のある成長産業が育成されています。

実施方針

- 各種関係機関・各企業との連携強化
- 工業振興支援の充実
- 新たな産業団地などの計画の推進
- 環境マネジメントシステムの認証取得への情報提供と支援
- 環境調和型産業の育成支援
- 景観形成や緑地の確保への支援

施策2 ものづくり産業の人財確保



これまでの取組

栗東湖南 I C や国道 1 号開通による道路網の充実などのポテンシャルに企業の注目が高まっており、新たな産業用地の確保などを進めています。

めざす姿

魅力的な職場、安定した雇用構造が構築され、企業が求める優秀な人財が育成・確保されています。

実施方針

- 人財育成・雇用の確保支援

第3章

11. 商業の振興

施策1 魅力ある商業の推進



これまでの取組

既存の商店街や新規参入した大型店舗など、それぞれ商業形態の特性を踏まえ、湖南省商工会などの関係団体と連携して「こなん商品券」を発行し、地域内循環を図るなど、商業の振興に取り組んできました。

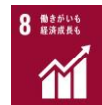
めざす姿

地域、商業者、関係機関との協働により、専門性と個性あふれる魅力ある商業振興を構想・計画し、市民にとって便利で快適な買い物環境が提供されています。

実施方針

- 地域性に応じた土地利用の誘導
- 商業・サービス機能の集積・充実
- 地元商業団体との連携・支援
- 地域商品券や電子マネーポイントなどによる地域振興の推進

施策2 地域特性を生かした賑わいづくり



これまでの取組

小規模事業者への助成金などの申請支援や商店街組織への支援を行ってきました。ふるさと納税制度を活用した販路開拓を推進してきました。

めざす姿

関係者主体による支援体制によって若者のチャレンジや創業しやすい環境が整い、新規参入する事業者が増加し、大型店と共存を図りながら既存商店街が活気づいています。

実施方針

- 地域特性を生かした商店街や沿道まちづくりへの支援
- 小規模事業者持続化および新規創業事業者への支援
- 事業承継、人材育成の支援
- 空き店舗や空き家の商業利用の推進

施策3

買い物弱者対策の推進



これまでの取組

高齢化が進む中、交通手段の確保とともに、身近な地域の商店街の振興を図り、地域の買い物の利便性の確保を図ってきました。

めざす姿

商店街や商業者と連携し、移動販売や移動支援の取組が増え、買い物に関する利便性が確保されています。

実施方針

- 事業者との連携による買い物しやすい環境づくり

第3章

12. 観光の振興

施策1

地域資源を生かした観光・交流の創出



これまでの取組

湖南省には、国宝の建造物を持つ湖南三山をはじめとする数多くの歴史文化遺産や「平松のウツクシマツ自生地」などの自然遺産、各種のイベントや伝統工芸など、多彩な観光資源があります。三大まつりへの参画、インバウンド向けに京都の宿泊施設などに設置する多言語版の観光パンフレットを作成し、誘客を推進してきました。

めざす姿

市民・事業者などが積極的に観光産業に関わり、市内外へ魅力を推奨したくなる仕組みが整うことで、各観光資源などに関わる人が増加し、観光客の滞在時間および観光収入が増加しています。

実施方針

- 市民、地域、関係団体との協働による観光資源の発掘、イベントの推進
- 体験型観光の推進
- 官民連携による宿泊施設の充実
- 観光ボランティアなどの観光資源に関わる人材の育成
- 特産品・地場産品振興の推進
- 伝統工芸の復興支援

施策2

観光情報の一元化・情報発信の促進



これまでの取組

観光協会が主体となり、イベントや四季などに応じた観光パンフレットの作成やホームページ・SNS・観光アプリを通して、情報発信を行ってきました。また、都市圏の情報発信拠点でのパンフレットの設置や特産品販売を行ってきました。

めざす姿

観光情報の情報発信媒体が一元化されており、多様な手法を用いた効果的なシティセールス活動が行われ、観光地としての認知度が広がっています。

実施方針

- 観光情報の一元化
- 公共施設や各団体と連携した地域固有の観光情報発信の強化
- ホームページ・SNS・アプリなどインターネット媒体の積極的な活用
- 外国人観光客受入れのための情報環境の整備
- 市内および都市圏の観光情報の発信拠点の活用
- 市内で開催されるイベントなどの情報発信支援

施策3 観光ルートの整備



これまでの取組

観光協会が主体となり、観光客の受入れ態勢の充実のため、地域や観光協会などとの協働で観光資源の周辺環境の整備を進めてきました。市内全域を観光地としたモデルコースの設定、観光案内看板の整備とともに、ハイキングマップなどを作成し、観光案内施設などに配置してきました。

めざす姿

観光地の動線や世代を意識した見どころなどを分析し、多様な観光客それぞれの目線に合わせた観光ルートが設定され、観光客の満足度が高まっています。

実施方針

- 十二坊温泉ゆらら、湖南三山を核とした歴史文化遺産をつなぐ観光モデルコースの整備
- 市内3駅を中心とした観光アクセスの充実
- 広域観光の連携体制の強化

第3章

13. 雇用の促進と勤労者福祉の充実

施策1

就労支援・人財確保の推進



これまでの取組

情報サイト「企業ガイド」や情報冊子により、市内のものづくり産業を知る機会を増やすとともに、企業説明会を甲賀市と合同で行い、就職の機会を提供してきました。また、求職者の資格取得支援により就労を推進してきました。

めざす姿

市内の求職者に対する市内の企業情報の提供や合同企業説明会の開催などにより、求職者と求人企業のマッチングが円滑に行われています。

実施方針

- 市内企業の情報発信の支援
- 合同企業説明会の開催
- 企業と教育機関のマッチング支援
- キャリア教育や資格取得の支援

施策2

多様な働き方の推進



これまでの取組

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が進む中、働く人がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できるよう、ビジネススキルアップの講座の開催や専門機関による研修の情報提供などを通じて、就業につながる支援を実施してきました。

めざす姿

ライフステージに応じた多様な働き方を選択することができ、働き方改革の推進によるワーク・ライフ・バランスが実現しています。

実施方針

- 子育て中の求職活動の支援
- 働き方改革の推進
- テレワークのためのICT環境の整備
- 高齢者や外国人の就労支援、技能の活用
- 障がい者就労情報センターによる支援強化

施策3

勤労者福祉の充実



これまでの取組

勤労者福祉施設を中心に、市民や勤労者の交流を促進するとともに、サークル活動の場所の提供や教養講座などを開催してきました。また、中小企業に対しては、「一般社団法人 甲賀湖南中小企業福利サービスセンター」が福利厚生を支援してきました。

めざす姿

働く人の福利厚生の充実、快適な労働環境が整い、社会参画、青少年の健全な育成、女性の自立および労働生産性の向上につながっています。

実施方針

- 福利厚生事業、労働環境整備の推進

第4章 こどもが主役の、生涯健康で安心に暮らせるまちづくり

～湖南省みらいものがたり Episode 4～

「ここなら安心して子育てができそう」——5年前、拓也（たくや）はそんな期待を胸に、妻の美咲（みさき）と義母の澄江（すみえ）とともに、湖南省へ移り住んできた。

きっかけは、湖南省が「発達支援システムなど福祉の先進地で、地域の人たちが親身になってくれるまち」と評判になっていたから。実際に息子の陽翔（はると）が生まれたとき、産後ケアの保健師さんがまるで家族のように寄り添ってくれたのを、拓也たちは忘れられずにいる。

湖南省では、SNSで「市民笑顔率世界一！」なんて言われるほど評判が広まり、移住してくる家族が増えている。拓也たちも、陽翔を連れて「こなんこども広場」で同年代のママ・パパたちとの交流を楽しんでいる。ここでは月に一度、保健師や栄養士による相談会が開かれ、子育ての悩みを気軽に話せるという安心の場になっている。

澄江も、近所の人に誘われ「まんまる」という地域サロンで、おしゃべりを楽しみ交流の輪を広げている。

ほっとする暮らしをつくろう

—10年後

陽翔は小学5年生になった。助手席に座って窓の景色を見ながら、「ボク、将来建築士になろっかなー!」とキラキラ目を輝かせる。見える建物を指さしながら、「あの建物かっこいい!」と未来への夢を膨らませている。澄江も相変わらず元気いっぱい。「まんまる」で手芸講座を開きながら、仲間との交流をいきがいにしている。拓也も空いた時間を活用して、ボランティア活動に参加するようになった。

拓也も、美咲も、澄江も、陽翔も——だれもが夢を語り、だれかに支えられ、心と時間にゆとりを持って暮らせる。このまちには、そんな温かな“つながり”と、実感できる安心がある。

※この物語は、第三次湖南市総合計画ワークショップの“みんなでつくる将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

第4章

1. 子育て環境の充実

施策1

安心できる出産とこどもの成長への支援



これまでの取組

妊婦や産婦・保護者と出会う機会では、相手の話を傾聴し、不安軽減を図り、保護者らとこどもたちが健康に過ごせるよう取り組んできました。

また、妊婦のための支援給付金やこなんママパパ子育て応援クーポン券交付事業で、経済的負担の軽減を図ってきました。

めざす姿

保護者とこどもたちの健康を保持するための支援とともに、こどもが健やかに成長できるよう切れ目のない支援が行われ、乳幼児期から望ましい生活習慣が定着しています。

さまざまな給付金や助成金制度があり、経済的にも安心してこどもを産み育てられるようになっています。

実施方針

- 保護者とこどもたちの健康保持・増進、疾病の予防・早期発見への支援の充実
- 健診など助成制度の充実
- 発達段階に応じた生活習慣の指導・情報提供の推進

施策2

地域の支えあいによる支援の充実



これまでの取組

つどいの広場事業で相談や支援、保護者の情報交換の場を提供し、子育て支援講座も行ってきました。

こども食堂や夏休みのこども居場所事業などの活動を支援してきました。

めざす姿

地域全体で子育てを支える環境が整い、こどもたちが健やかに育ち、子育て家庭が安心して暮らしています。

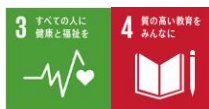
地域の中に、小学生から高校生まで幅広い年代のこどもや若者の居場所があります。

実施方針

- 子育てを支援する地域の担い手育成やボランティアなどの自主的な活動の支援
- 地域全体での子育て支援機能の強化
- 地域が中心となったこどもの居場所づくりの支援およびこどもの居場所ネットワークの構築
- 地域の自主的な子育て支援活動の交流・連携による子育て応援ネットワークの構築

施策3

保育サービスの充実・就学前教育の充実



これまでの取組

市内の保育士などの資質向上を図るため、保育士キャリアアップ事業や保育士研修を実施してきました。

医療機関と連携して病児・病後児保育室を運営してきました。

めざす姿

園および学校が連携し、こどもの安全と質の高い保育サービスが提供され、保育ニーズの把握や広域連携により、市民の利便性が向上しています。

実施方針

- 質の高い教育・保育サービスの提供
- 園・学校との連携による就学前教育の充実
- 関係機関と連携した病児・病後児保育の推進
- 豊かな心を育む保育の推進
- 施設・設備・遊具の整備および安心・安全な環境整備
- 家庭支援推進保育事業による人権・同和保育の推進
- 教育・保育の一体的な提供のための認定こども園の普及

施策4

学童保育の充実



これまでの取組

小学校区ごとに公設民営、民設民営の学童保育所が設置、運営されてきました。

めざす姿

利用者の多様化したニーズに即して柔軟な運営が行われ、施設の機能強化や指導員の確保・資質向上により、児童が安全かつ安心して過ごせる環境が整っています。

実施方針

- 運営体制の整備や受入れ態勢の充実
- 学校施設などを活用した受け皿の確保・環境整備
- 指導員の指導力・資質向上の推進

第4章

2 教育環境の充実

施策1

「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現



これまでの取組

社会の変化、こどもの生活の変容に配慮し、各学校や園で特色ある教育活動を行ってきました。また、「湖南省子どもの学びづくりプロジェクト」の実践により、こどもの学力保障を支えてきました。

家庭学習や自主学習の習慣の確立が必要な児童に対し、放課後に居場所や学ぶ場所を提供するため「らくらく勉強会」を運営してきました。

めざす姿

市内全ての学校で「子どもの学びづくりプロジェクト」が展開され、地域と学校が連携し、放課後の居場所が確保されています。

実施方針

- 発達段階に応じた経験や活動、異年齢間の交流促進
- 健やかな心身と豊かな人間性、生きる力の育成
- 「子どもの学びづくりプロジェクト」の実践
- 教職員の専門性の向上、若手・中堅教員の資質の向上に向けた取組の推進
- 家庭学習支援システムの構築

施策2

教育環境の充実



これまでの取組

バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進し、トイレの洋式化など学校施設の機能向上を図ってきました。

1人1台端末の整備と同時に安定的なネットワーク環境の実現に向けて、校内LANを構築するなど、ICT教育の充実に向けた取組を進めてきました。

食育を推進し、園・学校へ安心・安全な給食を提供してきました。

めざす姿

校舎など施設の老朽化対策、安全確保などを実施し、安心して学ぶことができる環境となっています。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られています。

実施方針

- 安心・安全な施設環境の提供
- 1人1台端末環境の充実
- 食育の推進と安心して栄養バランスの取れた給食の提供支援活動の交流・連携による子育て応援ネットワークの構築

施策3

外国人児童生徒への日本語教育支援の充実



これまでの取組

学校に通訳や母語支援員を配置するとともに、夏季休業中は教職員や通訳、ボランティアと連携して学習支援を行ってきました。

外国人児童生徒の就学・居住実態を把握し、保護者に対し制度やサービスについての適正な情報提供をしてきました。

めざす姿

通訳や母語支援員の配置、支援体制の充実により、外国人児童生徒はきめ細かな支援を受けています。

学校や国際協会などの関係機関が連携することで、外国人児童生徒が学校生活に適応し、日本のこどもたちとともに成長しています。

実施方針

- 日本語教室の充実
- 日本語初期指導教室の有効活用など支援の充実
- 通訳、母語支援員や翻訳機器の配置の充実
- 学習支援や相談の場としての子育て支援事業の充実
- 実態調査の実施による適切な情報提供

施策4

児童生徒への支援・相談体制の充実



これまでの取組

こどもの問題行動や行き渋り・不登校に対して、巡回相談の活用やスクールソーシャルワーカーの配置、湖南市教育相談室との連携などにより、きめ細かに対応してきました。

めざす姿

複雑な要因によって起こる問題行動、虐待件数の増加など、児童生徒のさまざまな問題・課題に対して学校や関係機関による一人一人のケースに応じた適切な支援や相談対応が実施されています。

実施方針

- 一人一人のケースに応じたきめ細かな相談・指導体制の充実
- 巡回相談による早期相談と湖南市教育相談室による相談対応の充実
- スクールソーシャルワーカーの配置による支援の充実
- こども家庭センター、園・学校などでの相談体制の充実、関係機関との連携強化



これまでの取組

小中学校全てに設置している学校運営協議会や地域学校協働本部との連携のもと、家庭や地域の協働と参画による地域の特色を生かした新しい公共型の学校づくりや教育活動に取り組んできました。

めざす姿

学校運営協議会や地域学校協働本部の熟議の質が高まり、協働と参画による地域の特色を生かした教育活動が展開されています。

実施方針

- 学校や園への地域住民の参画による開かれた環境づくり
- 全小中学校へのコミュニティスクール導入に向けた体制の確立
- 学校内・周辺のパトロールなどの強化
- 通報機器や防犯用具などの整備や充実
- 児童生徒への安全教育の充実
- 地域ぐるみの支援体制の推進
- 家庭・地域・学校・関係機関の連携体制による非行防止活動の推進
- 青少年育成団体の活動支援
- SNSなどの情報犯罪防止活動の推進
- 有害図書などの販売の指導

3. 子育て世代、若い世代への支援

施策1

こどもの遊び場の整備



これまでの取組

市民の意向や公園の状況を踏まえ、湖南省公園などストック再編基本計画を策定し、今後の公園の再編方針を示しており、こどもが安全に遊ぶことができる公園・広場の整備を進めてきました。

めざす姿

さまざまな遊びを体験し、保護者同士の交流や相談の場となる遊び場が身近にあります。

天候に左右されず遊びや体験の機会を確保でき、こどもや子育て当事者の目線に立った包摂的な遊び場があります。

実施方針

- 身近な遊び場の確保
- 全天候型遊び場施設の整備

施策2

児童虐待防止への取組の推進



これまでの取組

児童虐待については、湖南省要保護児童対策地域協議会で支援の方向性を確認してきました。毎年11月の児童虐待防止推進月間には広報や街頭啓発を実施してきました。

めざす姿

虐待の予防や早期発見ができるよう、主任児童委員や周辺住民、関係機関の連携による見守り体制が整っています。

実施方針

- 市民への啓発や関係機関との連携による虐待の早期発見の促進
- 育児の孤立化防止のための相談体制や訪問および交流事業による虐待予防の推進
- 虐待をした保護者への指導と、虐待を受けた児童の保護体制の充実
- 周辺住民や関係機関への早期通告の啓発

第4章

3. 子育て世代、若い世代への支援

施策3

経済的負担の軽減とひとり親家庭への支援



これまでの取組

経済的に困窮する子育て世帯に対して、就学援助費の支給や奨学資金を給付し、ひとり親家庭に対しては、経済的な支援と就業支援とともに相談・情報提供体制を整えてきました。

めざす姿

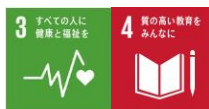
学校をはじめ関係機関と連携することで、必要な人に支援が届き、ひとり親家庭の経済的負担の解消に向けて、自立に向けた支援など多方面からサポートしています。

実施方針

- 保育・教育・医療などの助成制度の充実
- 教育の助成制度の充実
- 個別の事情に配慮した支援の充実・強化

4. 発達支援システム・特別支援教育の推進

施策1 発達支援システムの充実



これまでの取組

支援の必要な人に対し乳幼児期から学齢期、就労期まで、保健・福祉・医療・教育および就労の関係機関が連携して支援を行う「湖南省発達支援システム」により、継続的な支援を推進してきました。

巡回相談員が保幼こども園と小中学校に出向き、保育・授業を参観し、障がいのあるこどもへの適切な配慮や支援についての相談・検討・研修を行ってきました。

めざす姿

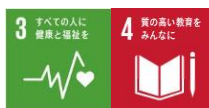
保護者などが発達障がいの特性を理解し、必要な知識や方法を身に付け、適切な対応ができる支援体制が充実しています。

自立した生活に向けた支援が必要なケースにも対応できるよう「発達支援システム」が充実しています。

実施方針

- 研修機会の充実による教職員・保育士などの発達特性への理解促進と資質向上
- 家庭・校園・児童発達支援センター・こども家庭総合センターなど関係機関との連携強化
- 発達障がいに対する正しい理解の啓発と研修の実施、湖南省発達支援システムの普及

施策2 特別支援教育の推進



これまでの取組

「湖南省発達支援システム」の一環として特別支援教育の推進体制を強化しつつ、個別ケースへの対応や教育的ニーズの把握、個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成・実践・評価をもとに支援を行ってきました。

めざす姿

サービス調整会議や個別ケース会議、ITネットワーク「KIDS」の活用などにより関係機関との連携を強化し、不登校の未然防止や合理的配慮の視点に立った個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成・活用の充実を図っています。

実施方針

- 関係機関との連携による「湖南省発達支援システム」を活用した効果的・継続的な支援
- 専門家による巡回相談の活用と職員研修の充実
- 湖南省教育相談室やことばの教室における取組の充実
- 関係機関や学校・園との連携による就学支援の充実
- 包摂的な教育システムの構築

第4章

4. 発達支援システム・特別支援教育の推進

施策3

多様な居場所・学びの場の確保



これまでの取組

こどもたちの放課後の居場所として「放課後等デイサービス」の運営により、学校教育と相まって障がいのあるこどもの自立を促進してきました。また、放課後や休日の居場所のひとつとして、日中一時支援事業も行ってきました。

めざす姿

こどもにとって安心して過ごすことのできる居場所、学ぶことのできる場所が確保されています。

実施方針

- 安心して過ごすことのできる居場所づくり

5. 高齢者福祉の充実

施策1 地域ネットワーク体制の確立



これまでの取組

いつまでも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の見守りや支援ができる地域体制の整備、支えあいを推進してきました。また、重層的支援体制の整備にも取り組んできました。

めざす姿

高齢者の見守りや支援ができる地域のネットワーク体制が整っています。

実施方針

- 地域包括ケアシステムの構築の推進
- 市民・地域・行政の協働による見守りや支援ができる地域体制の整備
- 高齢者の権利擁護や虐待防止ネットワークの構築

施策2 生きがい支援の充実



これまでの取組

高齢者が孤立することなく、身近なところで気軽に集い、交流できる自主活動支援や各種教室などを実施してきました。

めざす姿

高齢者の社会参加が、社会活動のステージごとに途切れることなく継続しています。また、世代間交流が活発化し、相互理解、人格形成や生きがいなどが創出されています。

実施方針

- 生きがいづくりの輪を広げる地域福祉の推進
- 高齢者や多世代が参加しやすい事業の促進
- 高齢者の経験・得意分野を生かし活躍できる地域づくりの推進
- 地域リーダーの育成の推進

第4章

5. 高齢者福祉の充実

施策3

介護予防の推進



これまでの取組

運動の場だけでなくコミュニケーションや地域参画として重要な場である安心応援ハウスなど、身近な地域での交流活動に取り組んできました。

めざす姿

介護予防の取組が検証され、圏域ごとにより効果的な介護予防の推進や自立支援のための体制が整っています。また、地域ボランティアなどを活用した高齢者福祉事業が充実しています。

実施方針

- フレイル予防などの早期対応も含めた健康講座などによる啓発活動の推進
- 地域包括支援センターの体制強化
- 高齢者が継続的に取り組むための手軽で身近な介護予防事業の充実
- 生活支援を必要とする高齢者や介護者に対するサービスの整備
- 予防給付などによる要支援者の生活機能向上

施策4

介護サービスの充実



これまでの取組

住み慣れた地域での生活を継続できるよう湖南市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、多様なニーズに合った介護サービスを提供してきました。

めざす姿

認知症高齢者を地域で支えるために、市民の認知症への正しい理解が進んでいます。また、介護サービスの充実のため、地域密着型サービスなどの介護サービス、住民主体のサービスの充足や担い手の確保が進んでいます。

実施方針

- 多様なニーズに合った介護サービスの充実
- 介護支援専門員の資質の向上などケアマネジメントの強化
- 介護サービス事業所の質の向上、評価システムの充実
- 認知症の相談サービス・啓発活動・交流の場の充実
- 地域全体で認知症への理解を深めていく取組の強化

6. 障がいのある人への生活支援サービスの充実

施策1 生活支援サービスの充実



これまでの取組

不足している計画相談事業所の確保のため、共同型で事業を行う計画相談事業所の指定を進めてきました。基幹相談支援センターとの連携による計画相談員の研修会を実施し、資質向上を図ってきました。関係機関との連携の上、必要なサービス提供を行ってきました。

重度障がいのある人、医療的ケアが必要な人には、より必要な支援が届くように努めてきました。

めざす姿

サービス提供事業所が増え、地域で多様な暮らし方ができる支援体制が整い、質の高いサービスが提供されています。

必要な支援をアセスメントするための地域生活支援拠点など事業（体験の場確保事業）の利用が進んでいます。

実施方針

- 個別支援計画に基づく適正なサービスの提供
- グループホーム設置などに対する地域の理解促進と住まいの場の確保
- 高齢障がい者、重度心身障がい者の日中活動場所（通所事業）の確保、充実
- 多様な事態に対応できるサービス提供体制の構築

施策2 安心して移動ができるまちづくり



これまでの取組

地域まちづくり協議会などにおいて、高齢者の移動手段として、住民が担い手となった移動支援が取り組まれてきました。障がい福祉サービスとして、移動支援サービスの提供を行いました。

めざす姿

外出機会、外出場所、移動手段などさまざまな場面に応じた取組を官民協働で実施し、「移動」に対する不安を解消しています。

ボランティアスタッフ、NPOなどの新たな人財・事業所、制度などにより、定期的な外出ニーズに対応しています。

実施方針

- 移動支援事業のサービス内容や新規事業所への参入条件の拡充・支援
- 福祉有償運送サービス事業の利用促進
- 地域に根付いた障がいのある人の移動支援の充実

第4章

6. 障がいのある人への生活支援サービスの充実

施策3

情報提供・相談体制の充実



これまでの取組

手帳交付時に「障がい福祉の手引き」により該当する制度について説明を行ってきました。サービス調整会議の全体会や各部会から、新たな情報について当事者向けに発信してきました。

湖南省と事業者が連携した相談支援を行ってきました。

めざす姿

身近なところで相談できる場所があり、公的サービスなどの情報を便利に入手できます。

複合的な課題に対応するため、湖南省や関係機関との連携に基づいた重層的支援体制が構築されています。サービス調整会議が、地域課題の把握や問題解決に対して十分に機能しています。

実施方針

- 虐待防止の啓発・理解促進
- 養護者や施設従事者に対する虐待防止の啓発
- 専門機関などとの連携強化のもと制度の啓発、情報提供の充実
- 相談支援事業所、障がいのある人の団体、行政などが連携した相談体制の充実

施策4

障がいに対する理解の促進



これまでの取組

障がいのある人の人権をテーマとした講座を開催しており、人権まちづくり会議にて障がいのある人の人権部会と連携して啓発を行ってきました。

重層的支援体制の整備と合わせて相談支援事業の見直しに取り組み、各当事者団体への支援も継続しながら、サロンなどの自主活動への支援も行ってきました。

図書館と連携し、点訳ボランティアや朗読ボランティアを育成してきました。

めざす姿

こどもの頃からの学習や障がいのある人と交流する機会の創出、アール・ブリュット作品展示などにより、障がいのある人に対する正しい知識が浸透しています。

実施方針

- 障がいのある人に対する理解を深めるための機会の充実
- 自立のための学習の場づくりやコミュニケーション支援・相談活動の充実
- 障がいのある人や独学の作り手などの作品（アール・ブリュット）による自信付与（エンパワーメント）および創作活動の支援
- 社会福祉協議会のボランティアセンターを中心としたボランティア活動への支援
- 学校教育および社会教育における交流やボランティア体験などの充実

施策5 就労への支援



これまでの取組

甲賀地域障害児・者サービス調整会議を中心に、特別支援学校卒業生にむけた福祉事業所の合同説明会を実施しました。

ハローワーク甲賀の機関「チャンスワークこなん」では、企業への障がいのある人の雇用に対する理解と雇用を促進してきました。

就労に特化する個別支援会議においては、「チャンスワークこなん」や「働き暮らし応援センター」と連携しながら支援してきました。

めざす姿

障がいのある人の適性と能力に応じた雇用・就労を推進するため、福祉的就労支援事業所の充実とともに、雇用先の企業の裾野が広がっています。

「チャンスワークこなん」と連携した一般就労移行時、また移行後のきめ細かな支援により、障がいのある人の安定した就労が継続できています。

実施方針

- 福祉的就労の場の確保
- 福祉的就労支援事業所などに対する業務発注や、製品の積極的購入・活用の推進
- 福祉的就労を支える各事業の充実と、より生きがいに結び付く作業の開拓
- 関係機関の連携強化による就労への継続的な支援
- 障がい者就労情報センターなどの充実による一般就労の促進
- 「チャンスワークこなん」の利用者の拡充

施策6 生涯学習・文化芸術・スポーツ活動の場づくり



これまでの取組

地域においてその人らしい日常生活や、社会生活を営むための相談支援、創作活動・生産活動を行う地域活動支援センター事業を実施してきました。日中一時支援事業では、レスパイトや余暇活動、交流の場としての居場所の提供を行いました。

めざす姿

事業所や人材の充実により、地域活動支援センターの活動などが充実しており、気軽に参加できるスポーツ環境づくりなどによって、スポーツ、レクリエーション活動などを障がいの有無に関わらずともに楽しまれています。

実施方針

- 企業などとの連携による活動・文化の場づくりの推進
- 障がいのある人のスポーツ団体との連携強化とスポーツイベント支援
- 外出支援や余暇支援のためのボランティア組織やNPOの育成・支援

第4章

7. 健康づくりの推進

施策1

健全な生活習慣の形成



これまでの取組

第3次健康こなん21計画に基づいて、健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、地区や分野ごとの健康課題に取り組んできました。

めざす姿

市民一人一人が自らの健康の維持・増進に向け主体的に取り組んでいます。また、多様な機関や団体が連携し、地域全体での健康づくりに取り組み、活動が充実しています。

実施方針

- 市民の自主的な健康づくりの推進
- 「オールこなん」の取組と連携による推進
- 食・運動などの正しい生活習慣の啓発

施策2

健康に関する正しい情報提供



これまでの取組

ホームページ、広報などのあらゆる媒体を活用した情報発信に加え、各地域では健康だよりの回覧やイベントを通じて健康に関する啓発を行いました。

めざす姿

健康に関する知識や各種感染症の流行状況などの最新かつ正しい情報がいつでも入手できるようになっており、気軽に健康相談ができる体制が整っています。

実施方針

- 多様な情報媒体による健康維持・増進および各種感染症の流行状況などの最新かつ正しい情報の発信
- 各地域でのイベントによる定期的な啓発の推進
- 悩みやストレスに関する相談窓口の整備

施策3

疾病予防・早期発見の推進

3 すべての人に
健康と福祉を



17 パートナシップで
目標を達成しよう



これまでの取組

広報こなん、ホームページや個別通知などの手段で予防接種などの情報を発信してきました。

市民が健（検）診を受けやすい環境を整えるとともに、健（検）診後に要医療者に対しては受診勧奨や保健指導を行ってきました。

めざす姿

予防接種の有効性などについて正しい情報が普及し、疾病の早期発見および重症化予防につながる健康診断やがん検診、保健指導を気軽に受けることができます。

実施方針

- 予防接種などの予防事業の啓発・推進
- 医療機関との連携による健康診査・検診体制の整備
- 市民が受診しやすい環境整備の推進
- 健（検）診後の要医療受診勧奨や保健指導の実施
- 各地域でのイベントによる定期的な啓発の推進
- 悩みやストレスに関する相談窓口の整備

第4章

8. 医療環境の充実

施策1

地域医療体制の充実



これまでの取組

公立甲賀病院や地域の医療機関が連携し、安心して医療が受けられる環境を整備してきました。

めざす姿

市民が安心して医療サービスを受けることができる「かかりつけ医」になり、地域医療機関の適切な役割分担と機能の相互連携の推進による総合的な医療体制が整っています。

実施方針

- 市外の高度医療機関を含めた地域医療のネットワーク化の推進
- 一次医療から三次医療まで対応できる救急医療体制の構築
- 大規模災害に対応できる広域災害救急医療体制の整備
- 人権尊重の視点にたった保健・医療の充実

施策2

地域包括ケアシステムの拡充



これまでの取組

医療と介護サービスが連携し、在宅医療・在宅看取りを行ってきました。

めざす姿

医療や介護、介護予防、住まい、生活支援に加えて、認知症施策など、さまざまな支援を切れ目なく提供する体制（地域包括ケアシステム）が整っています。

実施方針

- 在宅医療との機能連携の強化
- 医療と介護の連携強化
- 在宅医療の充実
- 地域包括ケアシステムの充実

9. 持続可能な地域共生社会の実現

施策1 多様な主体の参画の推進



これまでの取組

ボランティアセンターではボランティア育成事業を実施するとともに、コーディネーターを設置してきました。

めざす姿

介護サービス事業所のほかNPO、協同組合、社会福祉法人、ボランティアなどの市民や各種団体などとの連携・協働により、コミュニティと行政の地域課題の解決に向けた体制が整っています。

実施方針

- コーディネート機能による支援活動の促進
- 情報共有と意見交換の場の確保
- 連携・協力体制の整備

施策2 多様な福祉サービスの提供と事業者などの確保・育成



これまでの取組

事業所を超えた交流会や研修会を実施することで、若手職員の人財定着・育成を進めてきました。

めざす姿

人財確保と定着により、ニーズに応じた福祉サービスの提供体制が整っています。

実施方針

- 多様な福祉サービスの提供と事業者の確保・育成
- 福祉活動を行う人財や関係団体の育成・支援

施策3 人権の尊重とノーマライゼーションの理念の浸透



これまでの取組

甲賀・湖南権利擁護支援センターばんじーを中心とした権利擁護支援ネットワークを構築し、地域の中核的な機能を発揮できるよう取り組んできました。

めざす姿

個性や違いを認めあいながら地域社会に参加できる機会や交流の場があり、子育て中の家庭や障がいのある人、高齢者が安心して生活できる環境となっています。

実施方針

- 人権の大切さに気づく学習と一人一人の尊厳を大切にした交流の場づくり
- 権利擁護の推進
- 地域総合センターでの地域福祉事業の展開

第4章

9. 持続可能な地域共生社会の実現

施策4

ユニバーサルデザインのまちづくりの推進



これまでの取組

だれもが住みたくなる福祉のまちづくり条例による新築などの申請時に、全ての人の利用に配慮された環境整備を指導してきました。

めざす姿

高齢者や障がいのある人など、だれもがさまざまな公共的な場所を安心・安全かつ快適に利用されています。

実施方針

- 福祉のまちづくりに関する条例などの周知
- 利用者の多い公共施設、交通機関などのユニバーサルデザイン化の推進

施策5

自立支援・相談体制の強化



これまでの取組

自立支援の相談とともに、関係機関や地域の方からの情報によるアウトリーチも行ってきました。

生活に困難を抱えている相談者の状況を的確に把握し、支援プランの作成、支援調整会議を開催し、関係機関との連携により課題解決につなげてきました。

めざす姿

相談支援体制が充実し、複合的な課題を抱えた市民に対しては伴走的な支援が行われています。相談者の自立につながる、一般就労に向けた支援を行う就労準備支援事業が実施されています。

実施方針

- 相談者の状況に合った適切な助言やサービスの提供
- 適切なサービス利用のための保健・医療・福祉の連携強化
- 関係部署との連携による生活支援
- 基礎能力の形成を図る就労準備支援サービスの提供

施策6

生活困窮者への支援



これまでの取組

複雑多岐に絡んだ困り事を抱えている相談者に対して、庁内および庁外関係部署と連携し、継続的な支援を行ってきました。

めざす姿

関係機関が連携し、困り事を抱えた相談者に対して継続的な支援が実施されています。支援につながりにくい人が、適切な相談窓口につながっています。

実施方針

- 専門職による自立のための伴走的な支援の提供
- 民生児童委員や地域支えあい推進員などの関係機関からの情報収集

第4章

10. 危機管理体制の強化

施策1

危機管理体制の整備



これまでの取組

市民の生命・財産を守るため、自然災害・異常気象の頻発・大規模化、感染症の流行など、経験したことがないさまざまな危機の発生に対し、地域防災計画などにに基づき住民・地域・行政が一体となった安心・安全なまちづくりを推進してきました。

めざす姿

災害時などに対して、円滑に対応することができ総合的かつ全庁的な危機管理体制が整っています。また、有事に備えた危機管理体制の深化により、必要に応じた応援協定の締結が進んでいます。

実施方針

- 地域防災計画による総合防災の推進
- 国土強靱化地域計画に基づく「起きてはいけない最悪の事態」に備えた体制の構築
- 業務継続計画、危機管理マニュアルによる職員体制の整備
- より効果的な災害時応援協定の拡充
- 危機管理システムのDX化など危機管理体制の充実

施策2

防災体制の充実



これまでの取組

市民の防災意識の高揚のため、甲賀広域消防・消防団・ふるさと防災チームなどと連携し、総合防災訓練や地域での防災学習などを実施してきました。また、メール配信サービスや防災行政無線などを活用し、緊急情報を即時に伝えてきました。

めざす姿

常時、防災体制や情報伝達手段などの見直し・再構築が行われ最適化されています。

個別避難計画の意義や支援方法などについて、地域住民など関係者の理解が深まっており、災害発生時に福祉避難所が機能するよう、人員や物資に関する体制が平常時から整えています。

実施方針

- 高度な情報伝達システムの構築
- 甲賀広域消防との連携による消防団・自主防災組織などの地域防災力の強化
- 避難行動要支援者の避難支援体制の構築（地域全体で支えあう防災対策）

施策3

防災施設の整備



これまでの取組

危機への備えのため、各小中学校・まちづくりセンターに防災倉庫を配置し、資機材・食糧などの備蓄とともに災害用井戸の設置、防火水槽・消火栓を整備してきました。

また、災害対策の拠点として東庁舎の新築建替えによる整備を進めています。

めざす姿

災害発生時の対策本部や避難施設となる拠点の防災機能が整っています。

実施方針

- 各地域における防災拠点の整備
- 防災用備蓄資機材・食糧などの維持更新
- 防火水槽・消火栓の整備
- 新庁舎整備事業の推進

施策4

災害の未然防止



これまでの取組

水害などによる人命への影響を未然に防止するため、浚渫（しゅんせつ）や護岸改修工事を実施するとともに、危険エリアに関する周知・啓発を行ってきました。

めざす姿

地域住民の命と財産を守るための適切な治水対策とともに、住民一人一人が土砂災害から身を守るよう備えています。

実施方針

- 治水・砂防事業などの推進による危険箇所への対策強化
- 土砂災害危険区域の地域住民への啓発

第4章

11. 安全な地域づくりの推進

施策1

防犯体制の強化



これまでの取組

地域における防犯カメラの設置を支援する「湖南市安全なまちづくり自主活動支援事業」を周知し、設置を推奨してきました。

めざす姿

家庭や地域で防犯と安全意識が高まり、全ての人のために安心・安全な地域となっています。

実施方針

- 市民、警察署、滋賀県防犯協会などとの連携による安心安全なまちづくりの推進
- 防犯対策の推進

施策2

消費者市民社会の形成



これまでの取組

消費者のトラブルや、困り事について助言や斡旋を行ってきました。また、市公式 SNS やメール配信、広報こなん、組回覧にて最近の悪質事例の情報提供や注意喚起を行っており、学童保育所への出前講座、小・中学生への啓発冊子の配布も行ってきました。

めざす姿

市民への啓発活動などにより、消費者トラブルや被害が減っています。

実施方針

- 注意喚起を促すための情報提供の充実
- 悪質商法対策の啓発の充実

施策3 交通安全の推進

3 すべての人に
健康と福祉を

11 住み続けられる
まちづくりを

これまでの取組

交通安全対策を推進するため、交通事故発生ポイントなどでの交通安全施設を整備してきました。

交通安全教室や各交通安全運動、地域交通立番、交通安全啓発パトロールを実施してきました。

交通安全プログラムに基づいた児童などの通学路の安全確保に努め、点検および改善を行ってきました。

めざす姿

施設の点検や修繕が進められ、交通安全施設の劣化などによる事故誘発が防止されています。

高齢者には運転免許証自主返納を推奨するとともに、高齢者向けの交通安全教室の開催などにより、高齢者が関わる事故が減っています。

実施方針

- 地域との協働による危険箇所の把握・精査、交通安全施設の修繕・復旧の促進
- 地域・団体・事業所などとの連携による交通安全教室や街頭啓発の継続的な推進
- 児童生徒の安全確保のための通学路の点検および改善

施策4 総合的獣害対策

15 陸の豊かさも
守ろう

17 パートナシップで
目標を達成しよう

これまでの取組

甲賀地域獣害対策協議会では罠の購入、獣害対策に関する研修、狩猟免許取得費の補助を行ってきました。

めざす姿

被害状況の見える化が進み、防除方法の情報発信、研修の機会の充実により、市民が主役となって防除を行う体制が整っています。

関係機関と連携した啓発を行われ、地域全体で獣害に対する意識が高くなっています。

実施方針

- 地域全体での持続可能な管理体制の構築
- 防除体制と被害状況把握の強化
- 地域・関係機関と連携した獣害対策

第5章 市民文化を築き、育み、伝えるまちづくり

いきいきとした暮らしをつくろう

～湖南省みらいものがたり Episode 5～

「ただいまー」

ピカピカの笑顔で玄関の扉を開けた高校生の紬（つむぎ）を、母の真紀はにっこりと優しく迎えた。「おかえり。今日は“みんなの居場所”に行ったんでしょ？ママ友から聞いたよ」

紬はうなずき、誇らしげに言った。「うん。友達の子が来てて、勉強教えてあげたよ」

“みんなの居場所”は、地域のまちづくりセンターにある。赤ちゃんからお年寄りまで、それぞれのライフスタイルに合わせてだれでも気軽に利用できるスペースだ。平日の午後には、授業を終えた学生たちや休憩中の登下校パトロール隊でにぎわっている。親世代、祖父母世代と交流することで視野が広がり、同世代や低年齢の子と接することで思いやりが生まれる。そしてその循環はいきいきと暮らせるまちづくりにもつながっていく。湖南省は一人一人がまちの主役になれる笑顔にあふれるまちになっていく。

※この物語は、第三次湖南省総合計画ワークショップの“みんなでつくる将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

第5章

1. 若者の社会参画の促進

施策1 若者の社会参画の促進



これまでの取組

こなんSDGsカレッジ生を中心に、まちづくり活動の企画・運営に主体的に関わることで、地域の大人や同世代とのつながりを深めてきました。

めざす姿

多くの若者が参画したいまちづくり活動と、学校・地域との連携による導線づくりにより、「青春祭」や「二十歳のつどい」をはじめ、さまざまな活動に多くの若者が主体的に参加しています。

実施方針

- 多くの若者のまちづくり活動への参画の促進
- 多くの若者が参画したいまちづくり活動の充実
- 学校・地域との連携による参画の誘導

施策2 地域を担う若者の人財育成



これまでの取組

若者がまちの担い手として成長しています。また、地域課題への取組やさまざまな事業にも参画する機会となっており、湖南省が進める『小規模多機能自治』の実践的な一端を担っています。

めざす姿

まちづくり活動に参画する多くの若者の中から、地域リーダーが持続的に育成されています。

また、まちづくりや社会教育を担う団体の中で、若者が役割を持ち、若者の意見を生かせる仕組みづくりが整っています。

実施方針

- まちづくり活動への参画を通じた地域リーダーとなる若者の育成
- 地域でのまちづくりや社会教育活動への若者の参加の促進

2. 人の輪が広がる場づくり

施策1 人の輪が広がる居場所づくり



これまでの取組

6箇所のまちづくりセンターと4箇所のコミュニティセンターが各地域に置かれ、地域のまちづくり活動などの拠点となってきました。

めざす姿

地域の特色を生かした学びの体験をきっかけに人と人がつながり、地域を支える人を育成する仕組みづくりが整っています。

コミュニティ施設や公園内のスペースが、人の輪が広がる場として活用されています。

実施方針

- 人の輪が広がる場の確保

施策2 ふれあい・つながる地域学習環境の充実



これまでの取組

まちづくりセンターでは、地域の主体性や自由度の高い活動が可能となっています。

小中学校に家庭教育支援員を配置し、保護者対象の講演会や学習会を開催するなどの学習機会を提供してきました。

めざす姿

まちづくりセンターでは、学習拠点として必要な人財情報や支援が充実しています。

実施方針

- 身近な学習拠点であるまちづくりセンターでの生涯学習事業の支援
- 保護者などの家庭教育に関する学習機会の提供

第5章

3. 生涯学習環境の充実、教育プログラムの充実

施策1

生涯学習環境の充実



これまでの取組

家庭教育講座を開催してきました。湖南省のホームページなどを活用し、講座などの情報を発信してきました。

めざす姿

だれもが参加しやすく、地域に根ざした学びや世代間交流を支える学習環境が整っています。

実施方針

- 地域の個性が生かされた生涯学習の推進
- 多様な学習機会の提供と情報発信による参加啓発

施策2

生涯学習拠点の整備



これまでの取組

こどもが読書に親しむ機会や生涯学習の機会を充実させるため、情報提供などに取り組んできました。

めざす姿

市民のニーズを反映した施設の有効活用、運営の効率化が図られ、利便性やサービスが向上しています。

実施方針

- 既存施設の効率的で効果的な運営の推進
- 図書館や歴史民俗資料館などの公共施設の活用

4. スポーツ環境・拠点の充実

施策1 スポーツ活動の推進



これまでの取組

スポーツ少年団の活動を支援してきました。マラソン大会・駅伝大会などが開催され、多くの市民が参加してきました。

めざす姿

多様なニーズや幅広い年代に対応したイベントなどが開催され、多くの指導者やスポーツボランティアなどが活動しています。

実施方針

- スポーツを振興する団体への支援
- 多様なスポーツイベントの企画運営の推進
- スポーツボランティアの育成支援

施策2 スポーツに親しむ環境づくり



これまでの取組

湖南省スポーツ推進委員が出前講座など各種事業においてワンポイント指導を行いながら「正しいラジオ体操」の普及を実施してきました。

健康教育や保健指導の場において、運動についての啓発を行ってきました。

めざす姿

こどもからお年寄り、障がいのある人などあらゆる人がスポーツ活動を楽しんでいます。多くの市民にとって、身近な場所で気軽にスポーツに取り組むことが習慣化しています。

実施方針

- スポーツと健康づくりの一体的な推進
- 企業などの協働による先進的なヘルスケアの推進
- 年齢・体力に合わせたスポーツプログラムの提供と充実

施策3 スポーツ施設の充実



これまでの取組

各社会体育施設について、スポーツ施設の有効活用を検討や効率的な施設運営を行ってきました。

めざす姿

関係団体との連携によって、多様なニーズに対応したスポーツができる施設となっています。

実施方針

- 施設の計画的な維持管理およびユニバーサルデザインの推進
- 地域、関係団体などとの協働によるスポーツ環境の整備

第5章

5. 図書館機能の充実

施策1

図書館機能の充実



これまでの取組

資料と情報の提供を行う機関として、2箇所の図書館と移動図書館による図書館システムで運営を行ってきました。インターネットなどを活用し、利用者の利便性向上のための取組やこどもが図書に親しむ機会を積極的に提供してきました。

めざす姿

効果的な情報発信と、学習ニーズに応えるサービスの充実により、多くの市民が図書館を利用しています。

実施方針

- 関係機関などとの連携による地域に根ざした図書館の運営・リニューアル
- 魅力ある蔵書の維持更新と図書館利用の促進
- 全域サービスの充実
- 地域資料の収集と情報発信の推進

施策2

人と本をつなぐ環境づくり



これまでの取組

全域サービスやこどもの読書振興の一手段として、小学校、保育園、幼稚園、こども園、まちづくりセンターなどへの移動図書館の巡回を実施してきました。

めざす姿

こどもをはじめ市民の身近に本があり、市民と本をつなぐ人がいる環境があり、読書活動を通して心身の健康や生きる力が育まれています。

実施方針

- 本に親しむ環境づくり
- 家庭、地域、園・学校などが連携した環境づくり
- 読書活動への啓発と支援、広報の充実

6. 歴史文化遺産の保存・継承と活用

施策1 歴史文化遺産の保存・継承



これまでの取組

湖南三山をはじめとする指定文化財の保存に対する支援のほか、未指定の文化財について新規指定などに向けた調査を実施してきました。

地域住民が歴史文化遺産に愛着が持てるよう文化財講座を実施してきました。また、次世代への文化財の価値継承のため、学校教育において郷土史の学習を実施してきました。

めざす姿

調査やデータ整備のほか記録の保存により、歴史文化遺産が次世代に継承されています。

調査結果の活用と価値を発信することで、地域住民が文化財の本質的な価値について理解し、愛着を持っています。

実施方針

- 文化財などの調査と適切な保存推進および支援
- 学校教育や生涯学習での郷土史の学習機会の提供

施策2 歴史文化遺産の活用



これまでの取組

学校では、湖南市の歴史文化遺産を生かし、地域に根ざした学びを進めてきました。

歴史文化遺産の周辺に文化財の説明看板やトイレなどを設置してきました。

めざす姿

地域まちづくり協議会などと連携した取組により、まち歩きなど魅力的な活動が行われています。

多言語解説案内板の設置などにより、外国人観光客に歴史文化遺産の魅力が伝わっています。

実施方針

- 学校教育や社会教育での郷土史の学習機会の提供
- 歴史文化遺産の周辺の景観形成や芸術文化活動との連携による魅力のPR
- 地域まちづくり協議会との協働による文化財講座などの充実

第5章

7. 文化芸術活動の振興

施策1

文化芸術活動への支援



これまでの取組

文化ホールだけでなく、アウトリーチによる鑑賞事業を実施してきました。美術展では、参加体験型のパフォーマンス事業を行うなど、若年層への啓発を図ってきました。

めざす姿

文化ホールを中心に、多様なニーズや幅広い年代（特に若年層）に対応した催しが実施されています。

若年層を中心に人財の発掘・育成が進み、文化芸術活動が次世代に継承されています。

実施方針

- 文化芸術に触れる機会や活動場所の提供
- 教育・関係機関と連携した文化芸術活動の人財発掘・育成・継承の支援

施策2

湖南市の魅力となる文化芸術の創出



これまでの取組

文化祭や美術展など、市民が主体となって企画運営を行うとともに、各種イベントではアンケートを実施し、ニーズの把握を行ってきました。

めざす姿

湖南市の特性に根ざした独自の新たな文化が創造され、市民の誇りとなっています。

実施方針

- 文化芸術に関するニーズ把握と多様な主体への情報発信の強化
- 多様な文化芸術活動に接する機会の創出

8. 人権教育の推進

施策1

人権教育・啓発活動の推進



これまでの取組

学校・園・地域・職場において、さまざまな人権課題をテーマにした学習や研修を実施してきました。

人権まちづくり懇談会の開催や人権啓発講座を行ってきました。

めざす姿

一人一人が、あらゆる差別や人権侵害のない社会を創る主体者としての自覚を持ち、人権尊重の精神が現れています。

包摂（インクルーシブ）と多様性（ダイバーシティ）を大切にする共生社会が実現しています。

実施方針

- 児童生徒の人権意識の向上、生きる力と学力を高める取組の推進
- 人権まちづくり懇談会、啓発講座の内容充実による市民参加の促進
- 市民が主体的に学べる環境、交流の場づくり
- 企業・事業所に対する人権教育と啓発の推進

施策2

職員研修の推進



これまでの取組

人権課題の解決に向けた地方公共団体の責務の理解とともに、市職員に対し、人権啓発のリーダーとして市民の人権意識を高揚するための人権研修を行ってきました。

めざす姿

全ての市職員が業務において人権の視点を尊重し、基本的人権が尊重された社会の実現に寄与しています。

実施方針

- 人権に関する職場内研修の実施
- 外部派遣研修などの実施

第6章 効率的・効果的な行財政システムと人づくり

明日を^{ひら}拓く仕組みをつくろう

第6章

1. 自治体DXの推進

施策1

DXによる行政改革



これまでの取組

調査やヒアリングなどを実施し、組織的に機構改革や職員採用を行っており、在宅勤務制度を2020年度（令和2年度）に整備しました。

自治体クラウドのシステム共同化による割り勘効果やアウトソーシングによる業務の効率化を図り、最小の経費で最大の効果を発揮するための行政改革を推進してきました。

公共施設予約システムの運用を開始し、利便性の向上と施設管理の効率化を進めてきました。

めざす姿

デジタル技術の活用により、働き方改革を推進しながら行政需要の変化に対応した事務事業や組織体制の見直しが実現しています。

地域の活性化や住民サービスに与える影響を見極めながら、施設の統廃合が進められ、維持管理経費の削減や効率的な施設運営が実現しています。

実施方針

- デジタル技術の活用による行政手続きのオンライン化推進および窓口手続き簡素化の推進
- 公開型GISと公共交通の連携
- 自治体DXの推進
- マイナンバー利用環境における持続的な情報セキュリティの確保
- マイナンバーカードの普及促進
- セキュリティポリシーに基づく情報データ運用の透明化
- 社会情勢や多様な行政需要に応じた柔軟な組織体制の構築
- テレワーク環境の推進
- 自治体クラウドの推進
- 公共施設の最適化

施策2

人財の育成



これまでの取組

人材育成基本方針に基づき、職員研修計画を定めて年間研修プログラムを推進してきました。また、研修に関する情報提供を積極的に行い、研修機会の確保を図ってきました。

育成人事考課制度を2014年度（平成26年度）から本格運用し、適宜見直しを行い、改善を重ねてきました。

めざす姿

市職員の意識と能力が向上し、多様化する市民ニーズに対応し、質の高い行政サービスが提供されています。

実施方針

- 研修制度の充実による市職員の業務能力の向上
- 育成人事考課制度による人財育成の向上

第6章

2. 財政の健全化

施策1

効率化による経費削減



これまでの取組

投資的事業など要求調査を実施するとともに、翌年度以降の計画を把握し、今後の財政状況を考慮しつつ予算編成を行ってきました。

利用目的がない公有財産については、公売により売却を進めてきました。

年度ごとの決算に基づき、財政状況および財務書類、財政健全化判断比率などを湖南市ホームページなどで公表してきました。

めざす姿

財政基盤が安定し、透明性の高い財政運営が行われています。

事業計画が一時的に中断している行政財産は、期限付きで貸し付けを行うなど遊休財産が有効に活用されています。

実施方針

- 経常経費の抑制や投資的事業の年度間調整などによる財務改善の推進
- 公有財産の利活用の促進
- 財政健全化判断比率や財務書類の公開による透明性の高い財政運営の推進

施策2

財源の確保



これまでの取組

ふるさと納税・企業版ふるさと納税の積極的な活用など歳入確保のほか、市税や給食費などの未収金の徴収強化などに取り組んできました。

めざす姿

人員の制約や数年ごとの人事異動があっても、各債権担当課でノウハウ蓄積・継承などができる仕組みとなっています。

企業版ふるさと納税などにより、新たな財源が確保されています。

実施方針

- 未収債権への取組や新たな財源の確保

3. 近隣市町との連携

施策1

近隣市町との連携の推進



これまでの取組

湖南・甲賀の2市により広域行政組合や病院事業を効率的に運営してきました。また、栗東市・野洲市・竜王町・甲賀市などの近隣・関係市町と共通する課題ごとに協議会を設置し、事業の協働実施や国・県などへの要望活動を行ってきました。

野洲市および竜王町との協議会では、新たな広域幹線道路の整備実現に向け、滋賀県とともに勉強会を開催するなど広域的な連携を図ってきました。

めざす姿

隣接市町との連携が強化され、公共交通課題や広域道路整備、河川改修など広域課題の対策が大きく前進しています。

実施方針

- 甲賀広域行政組合の効率的な経営の推進
- 公立甲賀病院の効率的な経営の推進
- 公共交通課題に対する隣接市との連携強化
- 新たな行政課題に対する広域自治の検討
- J R 草津線複線化、広域道路整備、河川改修などの共通の行政課題に対する連携の推進

施策2

地域間交流の推進



これまでの取組

「しが navi」には、湖南三山や琵琶湖博物館などを観光できるモデルコースが紹介されています。

滋賀県内の図書館の蔵書を横断的に検索可能なシステムが整備されています。

友好交流協定を締結している鳥取県北栄町、北海道比布町とそれぞれ市内で開催するイベントを通じて交流を行ってきました。

めざす姿

周辺市町と連携した魅力ある観光地のネットワーク化により、地域全体としての観光ブランドイメージが高まっています。

専門性が必要な施設や規模の大きな施設について、市町間の広域連携によって相互利用が実現しています。

友好交流協定を締結している両町と草の根レベルの民間交流が活発になり、ビジネス創出などにつながっています。

実施方針

- 観光資源を活用した地域内連携の促進
- 地域内連携による施設の共同整備の促進
- 地域間交流の推進
- 市民交流の推進による交流人口などの拡大